

宮崎大学医学部整形外科

# 同門会誌

第 28 号  
平成 29 年 8 月

宮崎大学医学部整形外科学教室同門会

宮崎大学医学部整形外科

同門会誌

第28号

宮崎大学医学部整形外科学教室同門会



平成29年度 宮崎大学医学部整形外科教室同門会 総会  
平成28年11月26日 於 宮崎観光ホテル



平成28年度 宮崎大学医学部 整形外科学教室 新入教室員歓迎会

平成28年4月16日 於 宮崎観光ホテル



## 御挨拶

ひらかわ整形外科クリニック 平川 俊一

皆様にはおかれましては御元気で日々診療に忙しく努めておられる事と存じます。

昨年の4月に熊本県で大地震がございました。あの熊本城も損壊し復旧に20数年掛かると言われております。東北における地震津波、原発事故の被害も癒えぬうちに次の天災が起こったわけであり、日本という国土が如何に天災に見舞われやすいかという事でありましょう。東北の震災の時にもそうでしたが、各種配給等を肅々として順番を守って受け取り行列に混乱が生じないなど日本人の優れた特性、国民性を改めて感じましたし、世界でも日本人のこの行動は驚きの眼で見られ賞賛を浴びました。四季に代表される美しいはずの日本の自然は時として我々に悲しみを与える驚異に変わり、その情け容赦無い猛威の前には唯立ち尽くして眺めるしか出来ません。次は南海トラフと言われていますが、備える事が出来るものは備えまして、減災に努めたいと思います。同門の先生方にも被災された方がおられ、皆様に義援金をお願い致しましたところ、快く賛同頂き誠にありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

来年の春は、医療介護保険同時の改定がございます。厚労省としましては今回で大筋を

決するとの発言がございますので医療から介護へ益々の移行があるものと覚悟しなくてはならないようです。医療と介護の間には厳密な線引きが難しいと思いますが、私が一番心配するのは介護従事者の倫理の問題です。どこまでそのような教育を受けてきたのか、職務上の倫理観を身につけておられるのか危惧します。介護施設を全国展開している企業が多く見られることから、お金儲けの一手段としての側面を重視している事が考えられます。企業の論理としてはいずれ不採算分野からは利用者の都合に関係なく手を引かれることになるでしょう。整形外科にとりましては相変わらず消炎鎮痛処置の消滅や、外用剤の保険外しなど今までに組上に載せては我々の働きかけで潰してきた事柄の蒸し返しがあります。

新専門医制度も数年も前からあれほど会合を重ね各学会を振り回しいよいよ実施という時期になりましたのに、医師の偏在化を危惧する地方からの圧力に恐れをなした厚労省大臣の一言で後退し、数年かけた各種委員の苦勞が無になるなど今までの議論は一体何であったかという有様です。あれほど恐れていたTPP問題もトランプ大統領の誕生で破棄に

なりましたが、これからも類似の問題が  
来そうです。医療分野も我々だけが聖域と考  
えており、将来しっぺ返しを食らいそう  
です。

同門会活動および核となる教室活動に目  
向けますと今年の春は三人の先生、北堀貴史  
先生、黒木智文先生、藤田貢司先生の入局が  
ございました。仲間が増えることは大変嬉しい  
ことであり、是非若い力で新しい領域を開  
かれるようお願い致します。先日の総会で  
新しい留学研修制度を承認いただきました。  
弾力的に運用致しますので、是非この制度を  
活用していただき勉強されて新しい知識を  
持って帰って頂く様にお願ひ致します。

田島名誉教授が力を注がれましたスポーツ  
医学の分野では、1993年以來の二回目の日本  
整形外科スポーツ医学会が9月に宮崎で開催  
されます。帖佐教授を始めとして準備を進め  
てこられた教室員の皆様の御苦勞に感謝申し  
上げます。是非とも盛會に行われますように  
同門会員の皆様にも多くの参加をお願ひいた  
します。

この春から始まりました学童期検診の中  
の運動器検診も徐々に報告が出始めており  
ます。ある程度のデータの集積やその成果は  
まだまだ時間が必要と思われませんが、日本  
臨床整形外科学会が集めました一万数百人  
のデータか

らは殆どが脊柱変形だったようです。更なる  
問題点として、異常を指摘された児童の受診  
率です。東京近郊のある県では小学生50%、  
中学生では30%でした。これ以上のビッグ  
データを集め運動器検診を軌道に乗せ、厚労  
省および文科省との交渉材料とするには皆様  
の協力が必要であることは間違いありません。  
我々整形外科医の二次検診とその結果のデー  
タの集積に御協力を頂くようお願いいたしま  
す。

ロコモの啓発活動に関しましても宮崎県は  
帖佐教授の頑張りで認知度日本一となってお  
ります。あと数年後にはその認知度を80%  
まで引き上げるように厚労省から指示されて  
おります。80%までの認知度に達しませんと  
メタボほどの成果を上げたとは評価されず、  
整形外科としては「運動器の10年」の活動  
が失敗したことになります。整形外科の必要  
度が社会から認知されていないという評価に  
なってしまいます。是非ともロコモ事業も軌  
道に乗せ将来の整形外科医の仕事の領域を  
拓げていくようお願い致します。

最後になりますが皆様方のますますの御健  
勝をお祈りしまして巻頭の挨拶とさせて頂  
きます。



## 新入教室員歓迎

宮崎大学医学部整形外科学教室 帖佐悦男

2016年は日本人のノーベル賞受賞やリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの日本代表の大活躍など嬉しいニュースもありましたが、熊本地震や集中豪雨や台風などの異常気象により多くの方々が被害に遭われました。被災者の方々が一日も早く日常生活を取り戻せるよう祈るばかりです。さらに、18歳選挙権施行や日銀のマイナス金利導入決定など、日本社会も転換点を迎つつあります。

また、私たち宮崎大学医学部整形外科学教室同門会においても、長年にわたり同門・教室運営に多大なるご貢献を頂いた前同門会長河野雅行先生が宮崎県の医師会長に就任され2年が経ち、現在も様々な分野でご活躍でいらっしゃいます。また、河野先生の後任として平川俊一先生が新同門会長に就任され、教室との連携をふまえ同門会の継承・発展にご尽力頂いております。お二方にはこの場を借りて心より感謝申し上げます。

そして一昨年は初代教授の木村千似先生がご逝去され、これまでの教室に対しますご厚情に深く感謝するとともに、ご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。また多くの同門の方々が病氣療養中でいらっしゃいますので、みなさまの早期回復をお祈りするばかりです。先生方も健康には十分ご留意ください。

2015年は宮崎大学が国立大学法人として初めての田野病院の指定管理者となった年でもあり、その後池ノ上克学長と鮫島浩病院長(2016年4月)による新体制のもと順調なス

タートを切りました。一方で、病院経営を含めた大学経営は本学のみならず大変困難な時代です。整形外科としては、時代の流れに翻弄されることなくこれまで通り地域に根差した教育・臨床・研究を進めていきたいと思えます。

教育に関しましては、整形外科は旧制度と並行して新専門医制度を開始しましたが、これまでと同様に人間味のある医師を養成する卒前教育と卒後教育にて整形外科専門医で subspecialty 医師を育成します。あわせて、リハビリテーション科の専門医も育成してまいりたいと思っています。要支援・介護になる原因として運動器の障害が最も多くの割合を占めていますので、リハビリテーションは整形外科にとっても治療の中心であり、地域医療分野において今後益々重要な位置を占めることは間違いありません。田野病院には介護施設もありますので、将来を見据え卒前・卒後教育で介護医療を学べる仕組みを整えることが出来ればと思います。県・医師会とのロコモ対策も順調にすすみ、平成29年も宮崎県のロコモ認知度は日本一となっています。これもひとえに同門の先生方が医師会や行政などと連携し、地域の方々へ啓発活動を実施して頂いているお蔭と感謝いたします。

研究に関しては、昨年もグラントをはじめ多くの受賞があり、診療の傍ら日々研究に取り組む成果を見せてくれる先生方は大変心強い限りです。臨床に関しましても教室員一丸となって診療にあたり、手術件数も例年通り

1300件を超えております。若い先生方には多くの症例を経験することで、是非多くのことを学んでほしいと思います。また、新しく開始される専門医制度では様々な領域の疾患を経験する必要があります。多くの認定施設が単独では研修できなくなる可能性があります。保存療法はもちろん手術症例だけでも十分な経験を積むことができるのが宮崎大学病院整形外科の特徴の一つです。同門の先生方には入院待ちなどで引き続きご迷惑をお掛け致しますが、今後医師会との前方連携・後方連携が進むと思いますので、ご協力・ご支援をお願い致します。またこの場をお借りして、日頃多くの患者さんをご紹介頂いておりますことを心から感謝申し上げます。

さて、2017年は春の到来が遅く、桜雨もあり恒例の花見もできませんでしたが、例年より10日ほど遅れで桜は見事に咲き誇り、同時に北堀貴史先生、黒木智文先生、藤田貢司先生の3名の新入教室員を迎えることができたのは大変喜ばしいことでした。レジデントの3名の先生方にはこれから夢と目標、情熱をもって診療・研究・教育にあたって頂きたいと思っています。臨床に関してはまず専門医をとり、その後少しずつスペシャリティを考えるとということになるかと思えます。もちろん研究に専念したい場合は大学院へ進むことも貴重な体験になります。夜間大学院もありますので活用してください。持論ではありますが、運動器を扱う地方の整形外科医は、自分の専門を二つ以上持つことが望ましいと考えます。将来、医師過剰時代が到来すると言われていますが、地域・社会貢献を使命として保存療法から手術療法まで地域に必要な医療を提供することのできる医師を育成していくことが出来れば、私たち宮崎大学医学部整形外科の将来は明るいと確信しております。教室員のみならず同門の先生方におかれましても、このように教育制度や施設など受け入れ体制は充実していますので今後も

多くの教室員が増えますようご協力よろしく  
お願い致します。

現在の課題として、新臨床研修制度に伴う研修医の中央への集中により、関連病院への医師の派遣が困難となり、地方は深刻な医師不足にあえいでいます。また、開業や故郷に戻られる先生方もおられ私たち教室員も苦境に立たされていますが、幸い教室・同門の先生方のご理解・ご支援によりなんとか乗り切ることができています。お詫び申し上げますとともにより一層のご協力をお願い致します。

昨年度は学校健診に運動器検診が追加され開始されましたが、お蔭さまで宮崎県では大きなトラブルもなく終了することができました。学校医から受診を勧められた児童・生徒に対する対応をよろしく願います。

高齢化社会、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、より一層「スポーツメディカルランド宮崎」、「ロコモザワールド宮崎」構想を進めていきたいと思っております。宮崎県、宮崎市や宮崎大学の重点事業にも指定されていますので、ご協力の程よろしく  
お願い致します。

本年度は、「日本整形外科スポーツ医学会：9月8-9日」にシーガイアコンベンションセンターにて開催しますので、是非最新のスポーツ医学を聴講して頂ければと思います。あわせまして同門・教室の先生方のご支援・ご協力をよろしく  
お願い致します。

最後になりましたが、新たな顔ぶれも加わり、教室員一丸となって質の高い臨床・研究を実施し、地域社会に開かれた特色ある臨床外科系講座として貢献してまいる所存です。教室・同門の先生方におかれましてはこれまで以上のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしく  
お願い申し上げます。

教室・同門の先生方の今後ますますのご活躍と同門・教室の発展を祈念して筆を置く  
ことといたします。

# 目 次

## 写真

同門会総会

同門会新入局員歓迎会

御挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・平川 俊一

新入教室員歓迎・・・・・・・・・・・・・・・・帖佐 悦男

## 学会賞受賞

第 89 回日本整形外科学会学術総会

優秀ポスター賞を受賞して・・・・・・・・関本 朝久・・・・・・・・1

宮崎整形外科医学奨励賞を受賞して・・・・・・・・福嶋 秀一郎・・・・・・・・3

報告：学位取得・・・・・・・・・・・・・・・・山口 奈美・・・・・・・・4

## 国際学会での発表について

第 17 回 ESSKA に参加させていただき・・・・・・・・横江 琢示・・・・・・・・5

SICOT 体験記・・・・・・・・・・・・・・・・小島 岳史・・・・・・・・7

国際学会に参加して (ISPRM)・・・・・・・・鳥取部 光司・・・・・・・・9

ORS に参加して・・・・・・・・・・・・・・・・李 徳 哲・・・・・・・・10

オランダ研究留学・・・・・・・・・・・・・・・・山 子 剛・・・・・・・・12

医局長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・濱田 浩朗・・・・・・・・14

## 同門会・医局行事

西日本整形外科野球大会を終えて 2016・・・・・・・・小 菌 敬 洋・・・・・・・・15

第 90 回日本整形外科学会

サッカー大会を振り返って・・・・・・・・永井 琢哉・・・・・・・・16

第 25 回同門会ゴルフ大会・・・・・・・・三股 恒夫・・・・・・・・17

第 19 回同門会テニス大会報告・・・・・・・・松本 英裕・・・・・・・・18

第 13 回帖佐杯ゴルフ大会・・・・・・・・川野 彰裕・・・・・・・・19

野球検診報告 2016・・・・・・・・長 澤 誠・・・・・・・・21

2016 年 医局旅行 in 香港・・・・・・・・池尻 洋史・・・・・・・・22

第 43 回日本整形外科

スポーツ医学会の開催に向けて・・・・・・・・田島 卓也・・・・・・・・25



1年を振り返って	27
<b>新入会員紹介（賛助会員）</b>	
入会のご挨拶	増田 好成 31
入会のご挨拶	門内 一郎 32
入会のご挨拶	獅子目 亨 33
<b>新入会員紹介（正会員）</b>	
自己紹介	黒木 智文 34
自己紹介	北堀 貴史 34
自己紹介	藤田 貢司 35
<b>留学生の紹介</b>	
自己紹介	Niroshan Punchihewa 36
自己紹介	王 玉柱 36
同門会総会議事報告	37
教室同門の研究業績（2015年度）	41
編集後記	石田 康行 81



## 第89回日本整形外科学会学術総会 優秀ポスター賞を受賞して

宮崎大学医学部整形外科学教室 関本朝久

平成28年5月12-15日、横浜で開催されました第89回日本整形外科学会学術総会におきまして、優秀ポスター賞を受賞させて頂きました。永年に亘る教室の歴史

に少しは貢献できたのではないかと大変うれしく思っております。発表内容は「可変型遺伝子トラップ法を用いた骨軟骨疾患に関する新規遺伝子群のライブラリー構築」という演題で、私が熊本大学大学院時代から続けて参りました研究内容を発表しました（同門会誌 H6, 25年）。この研究プロジェクトは、同門会、整形災害外科学研究助成財団および科研費から研究助成を頂き、イギリスの



科学雑誌natureグループのScientific Reportsに掲載されました。

今回の受賞は、事前にポスター1008演題の中から受賞ノミネーターが日整会誌に公表されておりまして（日整会誌 Vol.90 No.3, 2016）、私はもうそれだけで十分と満足しておりました。学会発表後に、パシフィコ横浜の各会場で受賞者が掲示され、日整会2016アプリでも配信されて、私は日吉優先生から教えて頂き自分の受賞を知りました。自分のポスターには優秀ポスター賞パネルが掲示してありとても感激しました。学術総会の閉会式では授賞式があり表彰状を授与して頂きました。本当にありがとうございました。これで大学院当時たった一人で熊本に行ったことが報われたような気がしました。



この受賞後には他にもBone & Joint Research アクセプト、科研費基盤研究C採択、日本股関節学会スペシャルポスター賞を受賞させて頂き、さらに黒木修司先生が学位

論文アクセプト、中村志保子先生、永井琢哉先生が各々日本整形外科学会基礎学術集会で優秀ポスター賞ノミネートと、皆それぞれ異なる研究テーマで本当によく頑張ったと思います。後々振り返った時に、平成28年度が一番良かったとならないようにこれからも頑張ってお参ります。

この学術総会時には、熊本地震で共同研究先の熊本大学の研究室は多くの研究機器が破損して大変な状況になっておりましたが、今回の受賞で少しでも明るいニュースが届けられて本当に良かったと思いました。今ではか

なり復旧しており、もう一度表彰されるような研究をしたいと思っております。今回の受賞におきまして、これまであらゆる方面からご指導ご支援下さいました帖佐悦男教授、田島直也名誉教授、熊本大学生命資源研究・支援センターの山村研一教授、荒木正健准教授、荒木喜美教授をはじめとします諸先生方、そして研究室のスタッフの皆様にご心より深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくごお願い申し上げます。



「横浜市大 齋藤会長との記念撮影」



## 宮崎整形外科医学奨励賞を受賞して

岡田整形外科 福嶋 秀一郎

このたびは宮崎整形外科医学奨励賞をいただき誠にありがとうございます。今後の期待も込めての受賞であると考え、これからも整形外科医として地域医療に貢献していきたいと思えます。

岡田光司先生がお亡くなりになられて6年が過ぎました。10年目を迎える前に帖佐先生のご厚意で岡田整形外科に戻り、開業医としては右も左もわからない状態でありましたが、多くの先輩の先生方にご指導を頂きながら今日を迎えることができております。

岡田整形外科には平成17年に岡田光司先生が作られた、当院が目指すべき姿を文章化した品質方針があります。

1. 私たちは顧客のニーズに応じて安全かつ良質の医療および介護を提供します。
2. 継続的な改善を実施し、顧客満足を高めるために私たちは学び続けます。
3. 私たちは事業の質を向上させ、地域に貢献します。

安全かつ良質の医療及び介護を提供するために学び続け、安全かつ良質の医療及び介護を提供することによって地域に貢献していく、そのことを目標に日々取り組んでおります。

地域包括ケアシステムという言葉が最近よく聞かれると思いますが、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援

が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を実現するという国の方針です。整形外科医としてどう地域に関わっていくのか。整形外科疾患を主としたかかりつけ医としての役割のほかに、医療だけでなく介護分野でもリハビリを提供し、健康寿命を延ばす取り組みを行うことで地域への貢献を図っていきたくて考えております。今回デイサービスを新たに作ったことで、医療リハビリ→通所リハビリ→デイサービスといった医療から介護へのリハビリの流れができたと思えます。また高齢者だけではなく子供から大人まで、一般的な整形外科疾患からスポーツのリハビリまで、生涯住み慣れた地域で整形外科としての専門的リハビリを提供していくことが当院の役割だと考えております。

以前「私の分岐点」という題材で同門会誌に投稿させていただきましたが、その時に岡田整形外科に就職するという選択がよかったのか迷っていることを書きました。今でも自分に年が近い先生や後輩の先生たちの活躍している姿をみると、この選択は自分にとって良かったのだろうか・・・とふと思うことがあります。ただ以前と比べると現状を受け入れ迷いが少なくなっているのも事実です。「人間万事塞翁が馬」、人生何が起こるかわかりませんが、今回の受賞に恥じぬよう、これからも地域貢献を目標に医療・介護に取り組んでいきたいと思えます。改めまして、奨励賞をいただき誠にありがとうございました。



## 報告：学位取得

宮崎大学医学部整形外科学教室 山口 奈美

今年3月、学位を取得しましたのでご報告させていただきます。私は大学院に入学しておりませんので、事前に英語の試験を受け、その後英語論文を書くという方法での学位取得となりました。

学位論文は「Screening for musculoskeletal problems in Japanese schoolchildren: A cross-sectional study nested in a cohort」というタイトルでPublic Healthに掲載されました。

論文の内容としましては、2007年から実施してきた宮崎県内の小中学生に対する運動器検診をまとめたものです。運動器検診は「運動器の10年」日本委員会の事業の一つで「学校における運動器検診体制の整備・充実モデル事業」として全国10地域で実施されました。われわれは宮崎グループとして2007年から2015年まで9年間にわたりこの事業に参画し、延べ約5万人の児童・生徒に運動器検診を行いました。学位論文の対象は2008年から2014年の7年間で検診を行った児童・生徒で、運動器疾患の推定被患率は8.6%という結果でした。

宮崎県で運動器検診を開始した2007年当初は野崎東病院に勤務しておりましたので、そのような活動をしていることを知りませんでした。プロジェクトリーダーの山本恵太郎

先生に誘って頂き、2008年に少しお手伝いしたのがこの事業に参加するきっかけとなりました。その後2009年から大学病院勤務となり、本格的にこの事業に携わることになりました。山本先生が異動された後は、河原勝博先生がプロジェクトリーダーを引き継がれ、その後私が引き継ぐことになりました。検診の参加校は年々増加し、多い時は年間90校で検診を行いました。この運動器検診を実施するにあたり、多くの医局・同門会・学校医の先生方、スタッフの方々にご協力をいただきました。何とか最終年の2015年までこの検診を継続できましたのもご協力いただいた方々のおかげです。この場をお借りして御礼申し上げます。

また、学位取得にあたり背中を押していたいただいた帖佐教授をはじめ、論文作成のご指導をいただきました濱田浩朗医局長、谷口昇先生、田島卓也先生、ご指導有難うございました。何よりも、多くの方々に協力していただき長年実施してきた運動器検診の実績を形に残せたことに安堵しています。運動器検診の事業自体は終了しましたが、学校健診として継続されますので、これからも子供たちの健全な運動器の発育・発達をサポートしていけたらと思います。



## 第17回ESSKAに参加させていただき

宮崎市郡医師会病院 整形外科 横江 琢示

今回は2016年5月4日～5月7日にスペインのバルセロナで行われた第17回ESSKA(The European Society of Sports Traumatology, Knee Surgery and Arthroscopy)に帖佐悦男教授と参加させていただきましたのでご報告させていただきます。本学会はヨーロッパのスポーツおよび膝疾患を中心とした学会で2年に1回ヨーロッパ各国で開催されています。学会にはヨーロッパを中心に世界中の整形外科医が参加しています。演題は「Remnant-Preserving Augmentation with Bone-Patellar tendon-Bone graft For Partial Tears of Anterior Cruciate Ligament」であり、田島卓也先生にご指導いただきながらポスター発表させていただきました。今回初めて国際学会に参加させていただき、とても良い経験をさせていただきました。スポーツ中心の学会であり、私の興味のある内容を一日中勉強できたのは言うまでもなく、日本の学会では経験できないこともたくさんありました。一番の違いは、講演後に質問をする人の数が多くまた質問の答えに対してさらに疑問点を投げかけたり非難すべきところは強烈に非難するというまさに議論の場が展開されていたということでした。学会の講演を聞き



に来るだけでなく、国外の整形外科医は自分の意見を著明な先生にぶつけに来ている印象を強く受けました。学ぶべき一つの事項と感じました。これ以外にもたくさん感じることはありましたが、あとは各々が肌で感じるものだと思います。ランチの時には雑多なランチが配布されますが、日本の学会と異なり会場入り口で列をなすことを欧米人は決してしませんのでどの会場前も昼時には群衆で大変です。改善すべき事の一つと感じました。日本の先生方も参加されており、東北大学の井樋先生は肩のセッションで座長を務められていました。世界的に活躍されている先生方を拝見すると、日本人として誇りに思うとともに私もいつかこのような国際学会で座長やシンポジストとして活躍したいと強く感



じました。「Go out into the sea, Don't be a frog in the well.」であると先日の日整会で井樋先生は述べられておりましたがまさにその通りであると感じます。最終日に行われたパーティはバルセロナ国立美術館を貸し切りとして行われました。教授は翌日の早朝に帰国しないといけないということで、一人でパーティに参加しました。リトアニア出身のご夫婦で会に参加されていた先生方の隣に座らせていただくことになり、どうなることやらと不安もありましたが会話させていただくなかでお酒の力もありとても楽しい時間が過



ごせました。米国に留学されている先生ともお話する機会がもてたくさんの為になるお話を聞くことができ貴重な時間となりました。

学会の合間には帖佐教授と、サグラダファミリヤやコロッセオやガウディの建築物の見物、美味しいスペイン料理などバルセロナを堪能させていただきました。帖佐先生は歩くのがお好きでバルセロナ内をおそらく何周も廻ったと言っても過言ではない程歩き回りました。教授と国際学会に行かれる際には歩ける靴で行くことをお勧めします。



以上簡単ですが、国際学会に初めて参加させていただき感じたことを中心にご報告させていただきました。熱心にご指導いただきました田島卓也先生、学会にお供させていただきました帖佐悦男先生、移動後すぐに学会参加を許可していただきました県立延岡病院整形外科の先生方、同門の先生方および事務の方々に深く御礼申し上げます。まだまだ未熟者であり、日々精進して優秀な整形外科医になりたいと考えています。これからも厳しく温かいご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。



## SICOT体験記

野崎東病院 小島岳史

このたび「国際学会での発表について」というお題をいただきました。英語もままならない私が国際学会について原稿を書くのもいかなのかと思いましたが、「こんなやつでも海外学会行けるんかい！」とツッコミしていただければ幸いと思い筆をとりました。

私が初めてSICOTという国際学会の存在を知ったのは、2015年の中国開催の時でした。今でも「SICOTって何の略？」という質問には答えられませんが、日本の整形・災害外科学会みたいな感じ、と勝手に理解しております。

あれは2015年1月の抄録締め切り1日前の夜のことでした。後輩Dr.Leeより「小島さんSICOT抄録出した～？ いっしょに中国いこやー！ 食の広州やで～」と携帯電話にかかってきたのが始まりです。正直「めんどくさっ！ っていうかSICOTってまず何？」と思いつつ、「おれ英語しゃべれんし、質問とかされても困るしー」と答え、「しょぼいの～」と小バカにされたのがきっかけとなりました。その日の夜にGoogle翻訳を駆使し抄録を完成させ、SICOTホームページにuploadしました。多分rejectされるだろうなああと適当に構えていたら、acceptらしきメー

ルが……。合格通知と思われる英語のメール内容を理解するのに、またGoogle先生を駆使しながらposterの締め切りの「May」の5月をなぜか同じMから始まる「March」の3月と勘違いしてひとり焦っていたのはいい思い出です。

2015年の中国広州学会には、初めての国際学会にドキドキしながら、名ガイドのDr.LeeとSICOT常連の中村先生と3人で乗り込みました。1日目のセッションでは「大腿骨転子部骨折」のシンポジウムを聴講しました。かなり偉そうにしゃべっていた先生が「固定力を増すためにlag screwは側面で骨頭の前方骨皮質を貫くといい」ととんでもないことを言い出し、さらにそのことにだれも突っ込んでいなかったのがかなりのインパクトでした。その後は3人で「食の広州」を堪能し私の初めての国際学会は終了しました。「お前のポスター発表はどうやったん？」と突っ込まれそうですが、「真実は小説よりも奇なり」ということで、真相は引率最高責任者の中村嘉宏先生に詳細を聞いていただければと思います。

2015年の広州で調子に乗った私は、2016年のローマを目指すことにしました。今回も



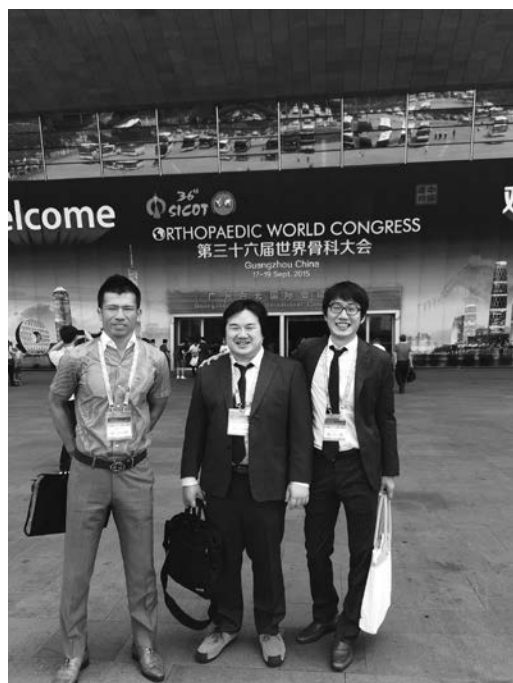
Google翻訳先生の恩恵に預かり、なんとか抄録acceptされ、2016年9月7日より6日間の「ローマの休日」、いや「ポスター発表」に参加しました。ローマには同期の三橋先生、口頭発表常連の中村先生、Dr.Lee夫妻、ローマでサッカー見たいだけの日吉先生、新婚旅行気分の山口奈美先生夫妻、引率の帖佐教授、と前年の中国学会とはえらい違いの参加人数でした。

学会では他の日本の先生も素晴らしい発表をされており、海外の先生方の発表と比較して発表内容やスライドには日本人ならではの繊細さ、細やかさを感じることができました。

今回2回にわたりSICOTに参加しましたが、国際学会デビューの人にとってはいちばんいい学会ではないかと思いました。毎年世界の色々な都市で開催されるようですので、みんな参加しにいきましょう。

最後になりましたが、快く学会に送り出してくださった野崎東病院の先生方、スタッフの方、またチケット手配丸投げしていた医局事務の島田さんに感謝いたします。

次回はもっと自慢できるような国際学会での発表についてご報告できるように、がんばります。



2015年9月 中国広州 SICOT



2016年9月 ローマ SICOT



## 国際学会に参加して (ISPRM)

宮崎大学医学部整形外科学教室 鳥取部光司

2016年05月29日 (日) ～ 2016年06月02日 (木)、クアラルンプール (マレーシア) におきまして、第10回 国際リハビリテーション医学会議ISPRM (International Society of Physical and Rehabilitation Medicine) World Congressが開催され参加させていただきました。

本学会は、76か国以上のリハビリテーションに関与する様々な分野の方々が年一回集まり活発な討論を繰り広げる国際学会であり、今学会場はクアラルンプールを代表する超高層建造物のツインタワーのすぐ近くで行われました。



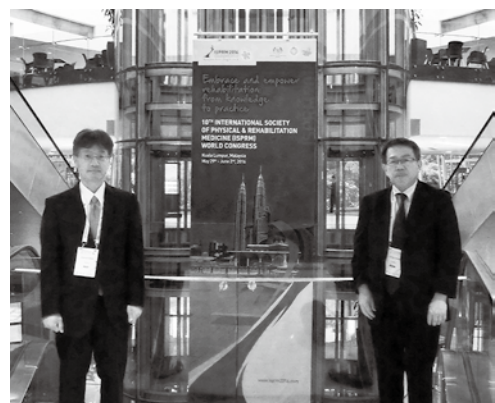
ツインタワー (学会場から)

私の演題は「Evaluation of Contact Pressure on Total Surface Bearing and Patellar Tendon Bearing Sockets during Gait」というタイトルで、初めてEポスターで行わせていただきました。内容は、片側下

腿切断者の義足歩行を三次元動作分析装置にて計測し、有限要素法を用いて応力分布についてTSBソケットとPTBソケットの比較検討をしたものです。

本学会は、2019年には神戸市で開催される予定であり、参加者は比較的日本人も多く、御高名な先生方からの御講演も拝聴でき、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。また、今回の学会には帖佐教授と二人で参加させていただきましたので、夜は市街地周辺でバラエティに富んだ味のマレーシア料理なども堪能させていただきました、貴重な経験となりました。

学会参加にあたり、ご支援いただきましたすべての皆様に心より御礼申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。



学会場にて



## ORSに参加して

宮崎大学医学部整形外科学教室 李 徳 哲

2014年リオデジャネイロでのSICOTの発表からの帰りのことでした。宮崎空港で荷物待ちをしている際、後の指導医となる谷口先生から「李は、4月から大学院生らしいな。」と言われ、31時間かかった帰路のため幻聴でも聞こえたかと思いましたが、医局に帰るとデスクに入学願書が置かれており、若干の圧迫面接試験などを乗り越え、本人の決意も固まらないまま2015年4月から整形外科の大学院過程が始まりました。

最大の目標は海外journalに論文を通しての博士号取得ですが、当面の目標として2017年3月にカリフォルニア州サンディエゴで開かれるOrthopaedic Research Society (ORS)に参加することに設定しました。日整会という日整会基礎のAAOS版にあたる学会です。

「細胞の脂肪分化と、骨格筋の脂肪変性」をテーマに研究をしています。ここまで基礎知識が無いまま何かを始めるのは久しぶりで、大学1年生の分子生物学の教科書を買直したり、ピペットで吸ったり吐いたりが出来なかったり、2か月かけて採取したラットのサンプルをすべて台無しにしてみたり悪戦苦闘しながらなんとか形になった抄録がacceptされ、この3月にサンディエゴに行っ

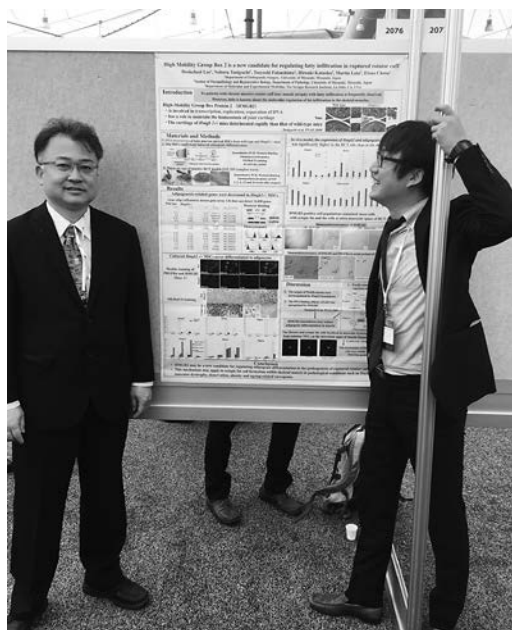
てまいりました。

残念ながらNew investigator recognition awards (NIRA)には引っ掛かりもしませんでしたが、最近は基礎系の学会がやっとな面白く感じるようになり、大変勉強になる発表ばかりでした。NIRAをとった発表が私の研究している遺伝子と同じファミリーの一つに関するもので、なんなら私の報告の方が良かったと感じる厚かましさをまで持つ始末です。学会の半数近くが女性の発表で、ディスカッションを持ちかけるとその自信に溢れた口調



と表情に、尊敬の気持ちとともに勝手にライバル心を抱き刺激をいただてきました。研究のヒントもたくさん仕入れて、時間が勝負だと再認識し、追加実験と全体的なbrush upを加えて一日も早い論文投稿を心掛けます。

我々は谷口先生が留学・勤務していた Scrips 研究所があるラホヤに主に宿をとっていました。サンディエゴの中心地から車で20分ぐらいの位置にあり、「清武の面積とショッピングモールの数を増やしたみたいところ」というのが印象です。空は驚くほど深く鮮やかな青さで、気候も年中温暖で湿度は低く、宮崎県民には親しみやすい街でした。谷口先生が運転する左ハンドルJeepに乗って Scrips はじめ様々な研究所も見学させていただき、DNA2重らせん構造を発見したかのワトソン博士（クリックだったかな？）の駐車場も拜んできました。谷口先生の昔のアパートを見て回り、全アパートにプールがついて



いたり、バーベキュースペースがあったり、近くにはタイヨーよりも納豆の品ぞろえが豊富な日本食スーパーがあり、医局員がいつでも留学しても大丈夫な土地でした！ 帖佐教授お願いします！

さて、全く同時期にWBCが開催されており、残念ながら韓国は全然ダメでしたが、日本VSアメリカの準決勝をドジャーススタジアムで観戦してきました。残念な結果でしたが、菅野-千賀のリレー、菊池のエラー、8回の筒香の入ったと思った外野フライ、本場のU・S・A！コール、大変興奮しました。この期間通して帖佐教授の一番の笑顔も見られました。

アメリカンな食事に、ころなしが現在も胃もたれ気味ですが（肉とフライを食べ続けた谷口先生、中村先生には改めて尊敬を覚えました）、来年のORSにむけてまた頑張ります。実験したり、臨床のデータをとったり少しいつもより苦しい思いをすれば、かけがえのない経験ができることを後輩医局員に刺激として伝えられたら幸いです。



## オランダ研究留学

宮崎大学テニュアトラック推進機構  
工学系バイオエンジニアリング分野 山子 剛

今回、オランダでの研究留学を無事終えて、体験記の執筆を依頼されました。昨年、『ORSでの発表から研究留学へ』（第27号）を寄稿しておりますので合わせて読んで頂ければと思っております。

私は科研費 国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）の助成を受けて、2016年5月から12月末までの8ヶ月間、オランダ東部のドイツとの国境近くワール川南岸の街ナイメーヘン（Nijmegen）にあるRadboud University Medical CenterのOrthopaedic Research Lab. に滞在し、新しい人工股関節の骨適応的リモデリングに関するシミュレーション研究に取り組んできました。ここはバイオメカニクスのパイオニアの一人であり、30年に亘って“Journal of Biomechanics”の編集長であったRik Huiskes先生が1985年に立ち上げたラボで、現在はNico Verdonshot教授をトップに10名のスタッフとPhD学生10名で運営されています。第一線のラボですので、研究は当然Nico教授からのトップダウンで進めるものと思っておりましたが、実際はボトムアップ型で学生たちがそれぞれ自由に自主的に取り組む姿が印象的で驚きました。そんな環境でしたので私はすぐに慣れて、Dennis Janssen助教やThomasら学生達とのディスカッションを楽しみながらのびのびと研究に打ち込み、とても良い仕事ことができました（Journal of Biomechanicsに投稿し、1回目のリバイス中）。また美しいキャンパスや古い街並み、絵画やダッチデザインで囲まれた研究生活は大変有意義なものにな

りました。

オランダへ来た当初5月はとても天気が良く、大学に人影はほとんどありませんでした。厳しく長い冬を過ごした反動のためか、オランダ人の多くは日中、カフェのオープンテラスやビーチで日光浴など初夏を満喫している様子でした（ここ人たちは働いていないのだろうかと思ひながら眺めてました）。また6月になるとNico教授を含めてスタッフ全員が1ヶ月程度のバカンスをそれぞれの日程で取得して家族と楽しむとのことで、Dennisは南フランスでキャンプだと言って出掛けて行きました（オランダでは非常に重要なイベントらしいです）。そういう状況でしたので、始めの3ヶ月は焦ることなく研究と生活のセットアップにゆっくりと時間を使いました。オランダはOECD（経済協力開発機構）加盟国の中で労働時間が最も短いようですが、すぐに納得できました（5時以降ラボには人はいません）。合理的・効率的に短時間で進める研究スタイルは学ぶべきことが多いと思いました。

現地での暮らしですが、心配していたオランダ語は案の定全くわからなかったのですが、問題にはなりません。オランダ人は英語が堪能で、地方のスーパーのレジでも優しい英語で話してくれました。滞在中、唯一辛いと感じたのはオランダ料理で、全く適応することができませんでした。これは私だけではなく、シンガポールから来ていたインド人留学生Shriramも同じ状況で、料理に塩と胡椒のスティックを2本ずつ入れて食べ

ている有様でした。二人で日本食やインド料理レストランへ行っていたのも良い思い出です。ただ屋台のFrites（ポテトフライ）とKibbeling（たらのフライ）、そしてビールは美味しかったです。

ご存知の方も多いと思いますがオランダは自転車王国です。平坦な地形のオランダでは専用道が整備されていて最も便利な交通手段であり何処へでも行けるようになっています。言い換えると生活には自転車が不可欠でしたので、少し健康になったと思います。オランダでの観光にはアムステルダムなどの都市も良いのですが地方で自転車を楽しむことを是非お勧めします。特に良かった場所はアムステルダムから電車で90分程度のところにあるHoge Veluwe 国立公園です。景色がとても良くて自転車で散策することができます。公園内にはゴッホの“夜のカフェテラス”も展示されているクレラー・ミュラー美術館があり



ナイメーヘンの中心街

何度行っても楽しむことができました。またオランダはヨーロッパのほぼ中心にあるため、休日には電車に乗り各国へ旅行できたのも良い経験になりました。ドイツやベルギーのクリスマスマーケットなどもとても良かったです。

最後に、8ヶ月の研究留学はあっという間でしたが十分楽しむことができました。そして第一線のラボとの国際共同研究はその経緯も含めて今後の研究を左右する大きな糧になったと感じています。次はどこへ遊びに行こうかと共同研究しようかと思案しながら原稿を書いています。このような機会と色々にご心配して下さった帖佐教授にはこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございます。この原稿が出る頃には、留学中の研究をまとめた論文がアクセプトされていることを願っております。今後ともよろしく願いたします。



Radboud University



BBQ



BABYMETAL がナイメーヘンに来ました。



## 医局長挨拶

宮崎大学医学部整形外科学教室 濱田 浩朗

4周目を迎えました濱田でございます。北朝鮮から攻撃をいつ受けるかわからないこの危機的状況において明日にでも辞めてお金がないので台湾に避難したいのですが、現実には目を向けますと医局では事務、外来では看護婦、帰ったら妻と母にお叱りを受ける毎日を過ごしております。

思い起こせば1999年に世界が破滅するとの事で、すぐ逃げられるよう大学院にりましたが、ノストラダムスは私を裏切り国保と国民年金という試練を与えてくださいました。

いま私に必要なのはミサイルではなく喜ばせ組だという願いは、星に届くのでしょうか。

愚痴はこのくらいにして今年も藤田貢司先生・黒木智文先生・北堀貴史先生という新しい仲間を3名迎える事ができましたことを誠に喜ばしく思っております。平成30年より新専門医制度開始ですので旧制度最後の整形外科専攻医となります。制度改変に関しましては皆さんも含めて今後の動向に注目し大学より正確な情報を配信できればと考えております。

また、先日教室会議でもお伝えいたしましたが来年4月には大幅な異動を行いますのでそれに伴う面談を行う予定であります。後日通知いたしますのでご一考ください。異動の

話と申しますと一部の先生方は「言ったもん勝ちの、大学が勝手に決めるもの」と思っただけですが現在は「言ったら倍返し、話し合っただけ決めるもの」となっておりますのでご心配は無用です。

「医局がオレに何をやってくれた！」などと、異論を唱える方もいらっしゃいますが、「私に何もしてくれないのになぜ君さきなの？」と思う私は間違っているのでしょうか。

医局も同門もある意味大きな一つの家族と考えれば、兄弟げんかと笑えるレベルなら何ら問題はございませんが縁切りまで発展するようなことはなるべく起こらないよう祈っております。

はっきりしておりますのは、大学であろうと勤務医であろうと開業医であろうと何ら能力の差などなく真摯に医療に取り組むことこそ評価につながるという事です。

医学はまだまだ分からないことが多く、お互いに教え学んでいくことが大切であると考えておりますので皆様も、なるべく多くの研究会に参加し、各々の見解を言って盛り上げていきませんか。

乱文ではございますが、これをもって私の最後の医局長挨拶とさせていただきます。



## 西日本整形外科野球大会を終えて2016

千代田病院 小 菌 敬 洋

平成28年7月31日、熊本市において第59回西日本整形外科親善野球大会が行われました。当日は例年同様、最高気温35.3度の猛暑日となりました。

2年連続で本大会(日整会総会親善野球大会)出場を逃がしており、何が何でも決勝進出を目指して大会に臨みました。前夜祭での抽選の結果は2回戦からの出場と決まり、福岡大学と熊本大学の勝者との対戦となりました。

熊本県民総合運動公園軟式野球場で迎えた初戦の相手は、近年勢いのある福岡大学を倒した大会主管の熊本大学でした。

三橋-福嶋のバッテリーで午前11時過ぎに試合が始まりました。2試合目になる熊本大学は初回から動きがよく、四球に盗塁を絡めてノーヒットで2点を先取されました。その裏、三橋・小菌・川野の3連打で同点とし、四球で出塁した石田のダブルスチールで逆転しました。2回と5回に1点ずつ返されて逆転を許したものの、三橋→松岡の投手リレーで

踏ん張り、1点のビハインドで最終回裏の攻撃を迎えました。先頭の福嶋が出塁したところで、代打谷口をコール。同点どまりではなく一気に逆転をねらった積極的な作戦を選び、2球目を叩いた谷口の右方向への強い当たりはライト線を抜け、その間に走者福嶋が帰って土壇場で同点としました。さらにサヨナラのチャンスが続きましたが、相手投手の力投もあり、あと一本が出ずに4対4で引き分けました。勝負は最終出場メンバーによるジャンケンとなり、追いついて同点とした我々に分があると思われましたが、最後に勝利の女神は微笑んでくれませんでした。持てる力は発揮できましたが、勝ち運に恵まれず、不完全燃焼で予選を終えました。

本年度の親善野球大会は8月27日(日)に鹿児島で行われます。一軍キャプテンを三橋龍馬先生に託しました。まだまだ神ってる美技でチームを本大会に導いてほしいと思います。これからも応援のほどよろしくお願ひします。







# 第90回日本整形外科学会 サッカー大会を振り返って

宮崎大学医学部整形外科学教室 永井 琢哉

本線出場をかけた地方予選は3/19に大分県で行われ、VS大分3-2、VS鹿児島6-2と2勝を上げ、無事切符を掴みました。

2017/5/18に仙台にて、日整会サッカー全国大会に出場いたしました。

小島キャプテンの引きの強いくじ運でベガルタ仙台の練習場という絶好の条件での試合となりました。天候は晴れ、朝露に濡れた芝生はキラキラと輝いていました。相手は日整会常連の新潟大学で、医局員も10数人入ったという噂がありました。前半は終始攻められてあまり攻撃もできないまま後手に回ってしまいました。小島キャプテンが持病の腰痛を抱えながらもファインセーブを連発し、何とか0-0に抑えました。後半数少ないチャンスの中から、横江先生のミドルシュートが突き刺さり先制。それも束の間、こちらのミスを突かれて同点となりました。これに奮起した横江先生が相手キーパーの手を弾く強烈な直接FKを決めました。このまま終わるかと思

われましたが、自力に勝る新潟大学に終了間際に立て続けに2点を奪われ、2-3と惜敗してしまいました。最終的には新潟大学は準優勝し、初戦での敗戦が悔やまれる結果となりました。

いつも快く送り出してくださり、応援してくださっている同門の先生に感謝申し上げます。ありがとうございました。

H20年卒 永井琢哉

本大会で勝てない責任を取り、今大会をもちましてキャプテンを日吉先生にバトンタッチすることになりました。「全国でなんとか1勝を」をスローガンに2年間やって参りましたが、そろそろ新しい風を入れたほうがよいとの考えです。短い間でしたが、お世話になりました。日吉新キャプテン、来年こそは神戸の地でチームを1勝に導いてくれることを期待しております。

2016-2017年キャプテン 小島岳史





## 第25回同門会ゴルフ大会

三股病院 三股 恒夫

最近は練習場にはほとんど行かず、狭い自宅の庭にネットを張って一日百球を目標に練習しております。かごの中ですので、3メートル先はどれだけ飛んでいるのか、どれだけ曲がっているのか確認できません。そのためか、スイングに集中できクリーンなインパクトが得られるようになったような気がします。

今回優勝できたのは、その効果もあったとは思いますが、ゴルフではメンタル面がスコアに大きく影響するといわれております。何より大きかったのは、一緒にプレイして精神面をフォローしてくださった先生方のおかげではないかと考えています。温厚で安定したプレイをされる江夏先生、そして飛距離もさることながら、きびきびとさわやかなプレイをされる森田雄大先生、平川雄介先生、本当

にありがとうございました。とはいえ、私も普通であれば年金をいただける年齢となってしまいました。筋力、精神力は日に日に衰えていくばかりです。歩いて通勤したり、腹筋運動したりと抵抗しているのですが現状維持するのもあぶない状況です。しかし、ゴルフを愛する同門の皆さんと末永くプレイを楽しみたいと思いますので、日々精進し練習を続けていきたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。





## 第19回同門会テニス大会報告

三財病院 松本英裕

昨年も11月23日、勤労感謝の日にシーガイア エントランステニスコートにて開催されました。天気には恵まれ、同門会員7名の参加に加え、今年もテニス仲間の応援参加を仰ぎ開催できました。我々独自のルールに基づき進行し、ポイント制で優勝が決まりました。優勝 松本14ポイント。次席は麻生先生、柏木先生、尾田先生が12ポイントで並び、年功序列で準優勝は麻生先生に決まりました。他、参加者は弓削孝雄先生、福田先生、神薊先生

でした。

正直、参加者がだんだん高齢化しており、若い先生方の参加を熱望します。若い先生においては、経験を運動量で勝り、優勝の可能性が高くなるかもしれませんよ。今年も11月23日に開催予定です。今から調整してみませんか。

最後に、会場準備等を昨年から尾田先生が引き受けて頂いております。この場を借りて、感謝申し上げます。





## 第13回帖佐杯ゴルフ大会

県立こども療育センター 川野彰裕

平成29年4月9日（日）に宮崎レイクサイドゴルフクラブにて第13回帖佐杯ゴルフ大会が開催されました。天候は晴れでしたが、前線の影響で朝から風の強いやや厳しい条件でした。参加者は14名でしたが、同門会ゴルフのレジェンドである市原先生の参加と名（迷）幹事の池尻先生により引き締まった大会となりました。私は大塚先生、松本先生、園田先生というsteadyなゴルフをされる大先輩方とのラウンドでした。まずは迷惑をかけないようにとスタートしましたが、1番でいきなりの10点、4番まで10オーバーとショットが定まらずボール3つを池や森に消失し、序盤から“百獣の王ライオン”（我々の仲間内では110をたたくとライオンの餌になるという合言葉）との戦いとなってしまいました。5番以降、前日宴会の焼酎とワインが抜けてきてからは、ショットが安定し、前半は47でまとめ、後半はバーディーを絡めての44、トータル91でした。ハンデが16でしたのでネット75とあまり期待していませんでしたが、強風の悪条件のためか100切りが4名だけという難大会をうまく乗りきることができ、栄えある帖佐杯で優勝することができました。普段はライオンに遭遇することのない先生がお尻をペ

ロペロされたり、またライオンに骨までしゃぶられた先生が多数いらっしゃいました。そんな中、グロス83の前回大会優勝の江夏先生はさすがの横綱ゴルフでありました。

さて、私自身は帖佐杯初優勝で、コンペでの優勝も久しぶりで本当にうれしく思っております。思い起こせば、突然、グリーンを1周する4連シャンから発症した原因不明の“シャンク病”に罹患したのは、県立N南病院勤務だった平成19年秋でした。それから約5年間の闘病生活があり、HCも12から30まで急降下しました。途中、“切り返しイップス”という合併症もあり、ゴルフを引退し解説者への転身も考えたことがありましたが、今回不参加だった医局ゴルフのエース益P先生のカウンセリング、タイガーウッズなみに腰に爆弾のあるマムシのM田先生によるレッスン、3次元動作解析プロの柳Z先生による指導にてここ数年は復活の傾向にあります。しかしながら、まだまだスイングに痙性所見が残存しており、ゴルフ仲間の同門会長H川先生やライバルK越先生、神Z先生には、“自分でポツ〇ヌス毒素治療でもすれば～”などとアドバイスを受けているところであります。

ゴルフを初めて22年目、いわゆる医者に

なって22年目になりました。ゴルフ人生は紆余曲折ですが、ゴルフを通して得られた出会いや経験も多く、続けていてよかったなと思っております。シニア入り目の先輩方も

いらっしゃいますが、まだまだ勝てません。これからも優勝をめざしてがんばっていきましょう。もう一度、シングルプレーヤーになる目標に挑戦します！！





## 野球検診報告2016

宮崎大学医学部整形外科学教室 長澤 誠  
石田 康行  
帖佐 悦男

2010年に開始した宮崎県少年野球検診も皆様のお力をお借りいたしまして7回目を無事行うことができました。2016年度は441名の小学生球児たちが受診してくれました。そのうち75名(17%)が要二次検診との診断を受け、75名全員が同日二次検診を受診しました。そのうち9名の上腕骨小頭離断性骨軟骨炎(OCD)が発見されました。

野球検診時に下肢筋力柔軟性と関節可動域を測定しており、今までのデータからいろいろとわかってきました。

①投球障害を有する群は異常ない群に比べ柔軟性が悪い

SLR FFDなど明らかに有意差を認めます。コンディショニング指導が重要と考えます。

②もともと肩関節の可動域が小さい選手は投球障害になりやすい

投球側の可動域は外旋角度が増大し内旋角度が減少することはよく知られています。

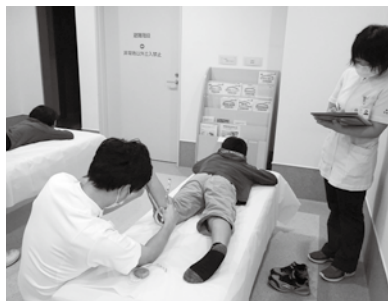
しかし投球障害群では非投球側の可動域が異常なし群と比べ小さい傾向にあります。やはりストレッチが重要と考えます。

③投手捕手をしているということはOCDのリスクである。

諸家の報告ではOCDの発生とポジションは関係ないというものが散見されます。しかしながら我々のデータでは明らかに有意差を認めており、投手捕手をしている=投球数が多いということはOCDのリスクであると考えます。

初期には自覚症状が少なく病院を受診した際には手術が必要な末期で発見されることが多いOCDを保存療法が奏功する初期で発見するためには超音波を用いた野球検診しかないと考えており、今後も継続して行っていきたいと考えております。

何卒今後とも同門の先生方のご協力をお願いいたします。





## 2016年 医局旅行 in 香港

宮崎大学医学部整形外科学教室 池尻 洋史

今回の医局旅行は、秋分の日をはさんだ9月21日から24日までの3泊4日の日程で、帖佐教授をはじめとした総勢19名で香港・マカオへ行ってきました。

初日は平日でしたので午前中は各自仕事の目途をつけ、16:20に宮崎空港を出発。途中機内食が出され、約3時間半のフライトで現地時間の18:45に香港空港に到着しました。出迎えに来てくれた現地ガイドのペティさんの案内で貸切バスに乗り込み、早速向かったのは『100万ドルの夜景』と謳われる香港の夜景を山頂から一望できるビクトリアピーク。

山の麓に到着すると一旦バスを降り、急傾斜を登るピークトラム（ケーブルカー）に搭乗しました。商業ビル内の終点で降車すると蠟人形で有名なマダムタツソー館があり、ブルース・リーと記念写真を撮り展望台へ向か

いました。生憎の曇り空でしたが、香港島や九龍半島の超高層ビル群のライトアップやビクトリアハーバーの美しい夜景が一望出来ました。

夜景観光から宿泊するパークホテルに到着後は各自ホテル周辺を散策する予定でしたが、渋滞に巻き込まれたため既に22時を回っており



小腹が空いてきた方も多かったため、皆でホテル隣のレストランで小籠包や担々麺等の夜食をとり、初日の夜は終わりました。

2日目の午前中は香港島へ渡り、南側沿岸のアバディーン、レパルスベイ、スタンレーを観光しました。アバディーンではサンパン船に乗り、水上生活者の住居や水上レストラン、富豪所有の豪華クルーザーを見て回り、リゾートビーチのレパルスベイでは万物にご利益があるという海の女神を祭る「天后廟」を参拝。スタンレーでは土産物店を散策し、縁起の良い花文字で名前を書いて額に入れてくれると言う呼び込みにつられて苗字を書い



て貰い、現在玄関に飾っております。

午後はスターフェリーに乗船して九龍半島へ戻り、昼食に広東料理を頂いた後香港一有名な「黄大仙廟」を参拝しました。病氣治療や占いの能力を持つという仙人が祭られており、境内奥の占いの館には100件以上の占いブースが並んでいました。次にバスが向かったのは低反発の枕やマットの専門店。日本語の商品説明のビデオを見せられた後、展示されているベッドに横になり試すよう促され、まんまと枕を買ってしまいました。しかし帰国後、マットも買えば良かったかなと後悔するほど予想外に気に入り愛用しています。その後は中心市街地の免税店で解散し夕食まで自由散策。ショッピングモールやペニンシュラホテル内のショップなどを見て回りました。

夕食に北京ダックを頂いた後は中国式の世界遺産を巡り、マカオタワー60階の回転展望レストランで昼食をとりました。このレストランでは大規模土地開発中のマカオの光景が一望でき、時折上階からバンジージャンプの方が飛び降りる場面も見られました。昼食の後は世界最大のカジノホテルを散策しました。ホテル内の広大なショッピングエリアでは観光客を乗せたゴン

ドラが運河を行き来しており、スケールの大きさに圧倒されました。香港・マカオ間を高速船で往復する際、海上で巨大な橋を見かけたのですが、現在香港とマカオの間を橋と海底トンネルで繋ぐ工事が進んでおり、今年度中には世界最長の海上橋が開通するとのことで、チャイナマネーの凄さを感じました。マカオの現地ガイドさんは「もし通行中に大きな事故や災害が起きたら、中国の高速鉄道事故の様にすぐに埋められて居なかったことにされてしまうかもしれない。」とブラックジョークを言っていたのですが、最近、コンクリートの強度偽装で建設関係者が逮捕されたという報道があったようで、次回マカオに行く際も高速船に乗ろうと思いました。

香港に戻ると潮州料理の夕食をとり、オー



プントップバスのツアーに出掛けました。2階部分の屋根が無いバスで香港の繁華街を巡り、ナイトマーケットを散策しました。

最終日はホテルで朝食をとると空港へ直行し15:30頃宮崎に到着しました。香港は宮崎空港から直行便がありますので、パスポートと休日があれば気軽に行ける魅力的な旅行先だと感じました。

最終日はホテルで朝食をとると空港へ直行し15:30頃宮崎に到着しました。香港は宮崎空港から直行便がありますので、パスポートと休日があれば気軽に行ける魅力的な旅行先だと感じました。



今回の旅行はスケジュールを詰め込んでいたため自由時間が殆ど無かったのですが、若い先生方は夜も元気に出掛けて楽しんでいた様子でした。帖佐教授は「持って来た仕事が終わらん！」と言いながらも常に集団の先頭を歩き、ガイドさんに質問し、お土産を買い込み、旅行を満喫されている様子でした。日

程的にも予算的にも、帖佐教授には無理をお願いしましたが、医局員・病棟スタッフが互いに交流を深める良い機会になったのではないかと思います。医局旅行に参加して下さい皆さんの御協力のお陰でトラブルも無く楽しい旅行となりありがとうございました。





## 第43回日本整形外科 スポーツ医学会の開催に向けて

宮崎大学医学部整形外科学教室 田島卓也

日本整形外科スポーツ医学会は1975年に大阪で第1回が開催され、40年以上の歴史がある整形外科とスポーツの架け橋となる学術集会です。「整形外科学および運動器科学領域におけるスポーツ医学の進歩普及に貢献し、心身の健全な発達、スポーツ外傷・障害の予防と治療等に寄与すること」を理念に掲げ、現在では会員数も2,000名以上に達しております。

宮崎での初めての開催は、1993年7月22-23日に田島直也名誉教授が会長で第19回本学会を宮崎観光ホテルで開催されております。

この度、第43回本学会が帖佐悦男教授を会長として「スポーツ医学イノベーション 継承と革新：RWC2019, Tokyo2020」をテーマに掲げ、24年ぶりに宮崎で開催される運びとなりました（平成29年9月8-9日：シーガイアコンベンションセンター）。宮崎はプロ野球、Jリーグをはじめ多くのプロチームや各種ナショナルチームがキャンプを行う土地柄であり、スポーツ界では注目を浴びております。宮崎県の推進する「スポーツランド宮崎」、帖佐教授の推進する「スポーツメディカルランド宮崎」「ロコモザワールド宮崎」構想も後押しとなり、過去最多の演題応募数を記録しております（口演・ポスター併せて364演

題）。例年では1,200-1,300名ほどの参加人数ですが、今回は1,500名程度の参加になることが見込まれております。

2日間の開催期間ではございますが、特別講演1題、教育研修講演3題、招待講演3題、シンポジウム7題、パネルディスカッション9題、企画レクチャー1題、ハンズオンセミナー2つ、ランチョンセミナー9題など盛りだくさんの内容となっております。また、特別企画として昨年のリオオリンピックで大活躍しメダルを獲得した旭化成柔道部の中村兼三監督、芳賀龍之介選手、大野将平選手と永瀬貴規選手をお招きし、「ケガとの闘い」を中心にリオオリンピックから東京オリンピックまでの道のりについて幅広くお話を伺う予定でございます。

現在、開催にむけて大学医局を中心に鋭意準備を進めておりますが、学会の盛会のためには教室員の先生方をはじめ同門会の先生方に多くのご支援ご協力をいただかなくてはなりません。土曜日の午後には、教育研修会のセッションも設けておりますので日常診療で大変お忙しいとは思いますが、ぜひ会場に足をお運びいただき、全員懇親会参加も含めて学会を盛り上げていただけたら甚幸です。どうぞよろしく願いいたします。



スポーツ医学イノベーション

継承と革新— RWC2019, Tokyo2020

# 第43回 日本整形外科 スポーツ医学会 学術集会

The 43rd Annual Meeting of the  
Japanese Orthopaedic Society for Sports Medicine

2017年9月8日(金)・9日(土)

シーガイアコンベンションセンター(宮崎市)

会長 宮崎大学医学部整形外科

帖佐悦男

<http://www.congre.co.jp/jossm2017/>

演題募集期間

2017年2月2日(木)～

3月23日(木)

事務局

宮崎大学医学部整形外科学教室  
〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200  
TEL : 0985-85-0986 FAX : 0985-84-2931

運営事務局

株式会社コングレ九州支社 内  
〒810-0001 福岡市中央区天神 1-9-17-11F  
TEL : 092-716-7116 FAX : 092-716-7143  
E-mail : jossm2017@congre.co.jp

# 1年を振り返って



タイから理学療法士2名の歓迎会  
H28.3



Orthopaedic Research Society  
2016 Annual Meeting H28.3



宮崎県スポーツ学会 H28.3



新入局員歓迎会 H28.4



モンゴルからの研修 チムゲ先生 H28.5



チムゲ先生と H28.5



第 72 回宮崎整形外科懇話会  
H28.6



第 3 回宮崎外傷カンファレンス H28.6

日時:2016年 7月25日(月) 18:15~  
会場:宮崎大学医学部附属病院 1F (臨床講義室105号室)

**第4回外傷カンファレンス**

18:15~18:30  
セレコニア錠・アステラス製薬 (株)

18:30~19:00  
『外傷と麻酔』  
演者:新橋 玄二先生 (麻酔科)

19:00~19:35  
『創傷治癒 1』  
演者:守永 圭吾先生 (形成外科)

お問い合わせ先 整形外科 日吉 優 PHS:4555  
代表世話人 中村 喜宏 ・ 河野 文彰  
※ 困った症例などの紹介・検討なども当日持ち込み大歓迎です

日時:2016年 10月3日(月) 18:45~  
会場:宮崎大学医学部附属病院 1F (臨床講義室105号室)

**第5回宮崎外傷カンファレンス**

18:45~19:00  
『アバンド』 アボントジャパン (株)

19:00~19:30  
『熱傷治療～皮膚科領域から  
培養表皮を含めて～』  
演者:持田 耕介先生 (皮膚科)

19:30~20:00  
『在るの?無いの?何をすれば良い?  
心大血管損傷の初期評価とマネジメント』  
演者:遠藤 稔治先生 (心臓血管外科)

お問い合わせ先 整形外科 日吉 優 PHS:4555  
代表世話人 中村 喜宏 ・ 河野 文彰  
※ 困った症例などの紹介・検討なども当日持ち込み大歓迎です

日時:2017年 1月30日(月) 18:30~  
会場:宮崎大学医学部附属病院1F (臨床講義室105号室)

**第6回宮崎外傷カンファレンス**

18:30~13:45  
『セプラフィルム』 科研製薬 (株)

18:45~19:15  
『脊椎損傷の診断と治療戦略』  
演者:手 徳哲先生 (整形外科)

19:15~19:45  
『頭部外傷における神経症候学』  
演者:窪合 秀信教授 (救命救急センター長)

お問い合わせ先 整形外科 日吉 優 PHS:4555  
代表世話人 中村 喜宏 ・ 河野 文彰  
※ 困った症例などの紹介・検討なども当日持ち込み大歓迎です



『健康長寿県民フェスタ』  
河野知事 ロコモ度テスト  
H28.9



第 31 回日本整形外科学会  
基礎学術集会 H28.10



2016年10月6日～9日  
**宮崎大学オープンカレッジ2016**  
 ～食と健康編 in 青島・綾～  
 ～日本の“ひなた”宮崎でココロカラダに栄養を～  
 宮崎大学オープンカレッジとは、広大な自然環境に囲まれる健康増進施設で高品質なプログラムです。心から笑顔になれる1泊2日の体験型研修です。

**料金・申込方法**

- ◆ 受講料 / 30,000円 (3泊4日食費・宿泊費・入場料・10/6早朝バス)
- ◆ 申込期間 / 8月31日(水)
- ◆ 支 店 場
  - 青島 本学が事務局です。お申し込みください。
  - 綾 本学が事務局です。お申し込みください。
  - 東京 30人に一度、2次集、集費をお知らせいたします。

問い合わせ先  
 青島事務局 TEL:0995-55-7188  
 綾事務局 TEL:0995-53-3643  
 本学事務局 TEL:0995-55-1555

開催主催： 宮崎大学法人宮崎大学  
 協力：青島ホテル国際観光旅館 青島観光六社 株式会社アイロード



『宮崎大学オープンカレッジ2016 食と健康編 in 青島・綾』  
 H28.10



**市民公開講座**  
 ひむか骨と関節を考える会  
 一緒に喜び、動ける幸せー  
**平成28年10月16日(日)**  
 10:00～12:00 入場無料  
**宮崎県総合保健センター**  
 5F 大講堂(聖徳大学附属ビル1F)

講師： 宮崎大学理学部 協 佐藤 賢  
 1 骨と関節のしくみ  
 2 骨と関節の病気  
 3 コツコツ学ぶ骨粗しょう症  
 4 骨と関節の病気と生活習慣  
 5 骨と関節の病気と生活習慣

協賛： 運動の10年 骨と関節の日  
 ロコモティブシンドロームを予防しましょう

第3回青島リハビリテーション講演会  
**高次脳機能障害市民公開講座**  
 参加料 無料

講演： (14:00～15:00)  
 「みえない障害を理解する。一地域で支える高次脳機能障害者の社会参加」  
 大田 喜久夫 先生 (宮崎県立大学大学院リハビリテーション科部長・教授)  
 講演： (15:15～16:15)  
 「『日々コウジ中』の夫とともに」  
 美津 礼 先生 (高次脳機能障害の夫と暮らす日常コミック『日々コウジ中』著者)

日程 **10月16日(日)**  
 時間 14:00～16:30 (受付13:30～)  
 場所 宮崎県総合保健センター 5F 大講堂 (聖徳大学附属ビル5F)  
 対象 どなたでも参加できます (定員200名)

高次脳機能障害 市民公開講座 H28.10

第22回  
**きよたけ健康ふくしまつり**  
**2016.11/20(日) 10:00～**  
 場所：清武総合支所 南側駐車場

ロコモ検診 出動します!



歓迎会【タイ・スリランカ・中国からの留学生】  
 H28.11



ロコモ検診カー導入 H28.11



第43回日本股関節学会学術集会 H28.11



第73回宮崎整形外科懇話会 H28.12



第2回学校保健委員会 H29.1

**みやざき ロコモメイト養成講座**  
(旧:みやざきロコモサポーター)

みやざきロコモメイトとは、宮崎県在住・活動している方々でロコモティブシンドローム(通称ロコモ)に陥るふいめ病をもち、自分自身そして家族や友人、職場・地域においてロコモ予防をすすめる方々です。講座をきっかけに、みやざきロコモメイトにならなうませんか？  
ご自身の状況をお知らせください。

第4回 平成28年6月12日(日)	第5回 平成28年8月21日(日)	第6回 平成29年2月19日(日)
----------------------	----------------------	----------------------

<b>講座プログラム(120分)</b> ①ロコモ基礎講座(講義) ②ロコモ選手体験 ③ロコモウォークトレーニング指導 動きやすい服装でお越しください。	<b>定員/学料</b> 定員 70名 学料 / 無料 ※定員に達した場合はお断りする場合がございます。先着順となります。
<b>時 間/場 所</b> 期 間 / 会 場 14:00~16:00 期 別 / 宮崎県立総合体育館 平成28年度 宮崎県立総合体育館1丁目6番地2	<b>お申し込み方法</b> 本県医師会必要事項を記入し、宮崎大学医学部整形外科のロコモ事務局まで、〒885-0092 宮崎県清武町木原5200 TEL:0985-85-0986 FAX:0985-84-2931 郵送でお申し込みください。

※本県医師会より、「ロコモ予防サポーター」を「みやざきロコモメイト」へ転換させていただきます。ご本人と同意し、地域内外のロコモ予防活動に協力していただきます。同意なくご転換致すことはできません。

宮崎大学医学部整形外科内 ロコモ事務局  
〒885-0092 宮崎県清武町木原5200 TEL:0985-85-0986 FAX:0985-84-2931  
共催：宮崎大学医学部整形外科 宮崎大学 宮崎市

みやざきロコモメイト  
養成講座

**第3回 ロコモ研修会開催のご案内**

平成29年3月2日(木)  
19:00~20:00  
小林保健所  
〒885-0093  
宮崎県小林市黒3020-1-3

**特別講演**  
「歩ける喜び ロコモ予防  
—ロコモ予防で心もからだも健康長寿—」  
宮崎大学医学部整形外科  
教授 帖佐 悦男

●日本整形外科学会教育研修会専門医資格継続単位1単位認定  
【2】 膝・足関節・足疾患  
【3】 ハビリテーション(理学療法、義肢器具を含む)  
また、(Re)教育研修会運動器リハビリテーション単位  
●日本医師会生涯教育講座1単位認定  
【3】 医療と介護および福祉の連携

お問い合わせ  
宮崎大学医学部整形外科教室 教授 帖佐 悦男  
〒889-1602 宮崎県清武町木原5200  
TEL:0985-85-0988 FAX:0985-84-2931  
■主催 公益社団法人宮崎県医師会・宮崎県

## 賛助会員入会ごあいさつ



増田病院

増田好成

平成28年度より帖佐教授のお許しをいただき、整形外科学教室同門会に入会致しました。私は、宮崎市 大瀬町に父が開業しました病院の裏手の自宅で育ち、日本大学医学部を卒業後は、宮崎に戻り、宮崎大学医学部での臨床研修を終了しました。研修後は、旧第一外科に入局し、10年間の消化器外科としてのご指導をいただいた後に、現在は増田病院の常勤医として勤務しております。

研修医時代からでしたが、特に宮崎市郡医師会病院の勤務時期には、整形外科の先生方には、大変お世話になりました。当時から整形外科の患者数・手術件数は、大変多いのにも関わらず、担当の患者さんのコンサルトから時間外のオンコールにも快くお引き受けくださり、大変感謝したのを覚えております。

当院では、これまで医局より出張していただきました先生方や現在の非常勤医師でいらっしゃる魏 國雄先生ならびに石田 康行先生のご支援により専門的アドバイスをいただき、診療のレベルアップに大きく役立たせていただいております。私個人としても魏先生には、整形外科分野での超音波診断を大変親切にご教授いただき、解剖・疾患の理解が深まるように感じております。

当院の位置する宮崎市北地区では、他地区よりやや65歳以上の高齢化率が高いと言われており、慢性期を含めた整形外科疾患の患者さんが多く、高齢化社会における需要の多さを感じております。

また地域包括ケア病棟を有していることもあり、宮崎大学附属病院や宮崎市郡医師会病院での術後療養や長期臥床による廃用症候群などのリハビリテーションを行っております。在宅復帰のためのリハビリテーションの重要性も改めて、認識させられております。

勉強会や講演会を通じて、自身が成長することによって、地域医療に貢献できるよう頑張っていこうと思います。

現院長も来年3月で80歳を迎えることとなり、世代交代を図っていくつもりでもおります。今後ともよろしくご厚意申し上げます。





## 宮崎県立こども療育センター 門内 一郎

この度、宮崎大学医学部整形外科学教室同門会へ御入会させて頂きました宮崎県立こども療育センターに勤務しています門内一郎です。日頃より帖佐悦男教授を始め、多くの諸先生方に変なお世話になっており、こうして同門会賛助会員にご承認いただいたことを深く感謝し、この場をお借りしまして心より御礼申し上げます。

私は生まれも育ちも宮崎市で、宮崎南高校を卒業後自治医科大学で学び、平成9年に卒業して宮崎に戻ってきました。県立宮崎病院で2年間初期研修し、西米良、日之影、そして1年間の自治医大後期研修の後、日之影、旧南郷村（現美郷町）、椎葉村と地域医療に従事いたしました。その後、9年目にして何を思っか研究したい衝動に駆られ、一度県職員を退職して自治医科大学大学院および東京医科歯科大学にて骨・軟骨分化の研究に携わってきました。そして、博士課程修了後、再び残り2年の義務年限を果たすべく宮崎へ戻る際、前所長である柳園賜一郎先生のおかげでこ療へ勤務させていただくこととなり、義務年限終了後もそのまま勤務を継続させていただいています。

これからも宮崎県の小児整形外科へ微力ながら誠心誠意尽力して参りたいと存じますので、今後とも御指導御鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。



獅子目整形外科病院

獅子目 亨

今回、宮崎大学医学部整形外科教室同門会に賛助会員として入会させていただきました獅子目整形外科病院の獅子目亨です。

平成14年に藤田保健衛生大学を卒業し同大学整形外科に入局、その後愛知県の病院で研修を積んで参りました。

平成28年4月より実家である獅子目整形外科病院に帰ってきて、父と共に診療に携わっております。

当院は急性期病床16床、療養病床32床、合計48床のケアミックス病院であります。小規模ながらも病院である為、同門会の先生方に手伝って頂きながら外来や病棟、数は少ないですが外傷を中心に手術加療を行っております。

高齢化社会を迎え整形外科医の必要性がより高まると思われますが、当院の診療体制では全ての整形疾患に対応できない為、大学病院をはじめ、近隣の急性期病院の先生方に御協力頂く事が多々あると存じます。

当院より紹介させて頂いた方はもとより、保存的加療で入院必要な方がいらっしゃればいつでも入院加療対応致しますので、ご紹介して頂ければ幸いです。

大学の先生方をはじめ同門会の先生方、今後も色々ご迷惑おかけすることもあるかと思いますが指導・御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

## 新入会員自己紹介(正会員)



名 前：黒 木 智 文

生年月日：1990年6月16日

出身高校：都城泉ヶ丘高等学校

出身大学：宮崎大学

平成29年度より入局させていただきました黒木 智文です。

高校までの18年間は都城で過ごし、大学から研修医の2年間は宮崎大学でお世話になりました。入局してまだ日も浅く、手術・病棟業務・当直と慣れないことも多く、日々、諸先輩方に支えられ奮闘しております。

私は学生時代の実習や研修医時代の2年間で様々な病院の整形外科の先生方のお世話になり、その熱意に心を打たれ入局を決めました。まだまだ私は未熟ではありますが、将来、かつての自分のように、整形外科医として働く自分を見て、整形外科はすばらしいなと思ってもらえるよう、日々精進していきたいと思います。

まだまだ未熟な若輩者ですが、ご指導よろしく申し上げます。



名 前：北 堀 貴 史

生年月日：1989年8月23日

出身高校：宮崎県立宮崎西高等学校

出身大学：宮崎大学

宮崎大学を卒業後、宮崎県立日南病院で研修を終え、今年4月から入局させていただきました。

学生時代は柔道部に所属しており、体力には自信があります。社会人になり、ゴルフを始めようと道具を揃えましたが、まだまったく練習できておりません。これからコースをしっかりとまわれるように頑張ろうと思います。

今後、お世話になる先生方には何かと御迷惑をお掛けすることが多々あるかと思いますが、御指導、御鞭撻の程よろしく申し上げます。



名 前：藤 田 貢 司

生年月日：1980年3月9日

出身高校：宮崎県立妻高等学校

出身大学：高知大学

縁があって以前修士課程でこの教室にお世話になり、医師としてこの場に戻って来れた事を大変嬉しく思っています。

微力ではありますが、当教室の発展と宮崎の医療の力になればと思っております。

ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

## 留学生の紹介



Name : **Niroshan Punchihewa**

Country : Sri Lanka

Education : B.Sc. Engineering,  
University of Moratuwa, Sri Lanka

Research Interest : Sports Biomechanics

After receiving Japanese Government Scholarship(Monbukagakushou), I came to Japan in April 2016. After complete short Japanese Language course at Kagoshima University, I joined University of Miyazaki as a research student. As a foreign student studying in Japan, biggest challenge I encountered was Japanese Language literacy. But kindness and help of Japanese people it was not very difficult to get used to Japan. I like Japanese culture, foods and nature. But one thing that attracts me most is Baseball which is my personal and research interest.

While many foreign students want to study in famous Universities in Tokyo, Kyoto or Osaka, I find many advantages coming to University of Miyazaki. Miyazaki weather is nice and warm. University of Miyazaki has full of resources to study about Sports medicine, Engineering and related technologies. Experienced teachers and researchers are willing to guide you and educate you to complete the research. I strongly believe that University of Miyazaki has the potential of establishing Sports education and it could attract many local and foreign students and researches to fulfil their research dream and enjoy beautiful Miyazaki. While thanking Japanese government, Professor Etsuo Chosa to giving me this opportunity and people in Miyazaki for their generosity I welcome you all to visit Sri Lanka someday to experience the beauty of my country.

Thank you.



名 前：<sup>おう</sup>王 <sup>ぎょく</sup>玉 <sup>ちゅう</sup>柱

生年月日：1992年9月28日

出身高校：洛陽市第一高校

出身大学：河南中医薬大学

中国から、留学生としてきました王と申します。日本に来てから一年半が過ぎ、宮崎の生活にはもう慣れました。今は、研究生として整形外科のことを勉強しています。

私が生まれた町は洛陽です。洛陽には、有名なものが四つあります。世界文化遺産に登録されている「龍門洞窟」、国花である「牡丹」、1,000年も受け継がれている「洛陽料理」、清朝から今でも使われている整形外科治療の伝統的な手技です。

中国へ行く機会があれば、ぜひ洛陽に来てください。

## 同門会総会 議事報告

平成29年度総会：平成28年11月26日(土) 17:00～18:00 宮崎観光ホテル

### 1. 平成28年度(H27.10/1～H28.9/30)事業報告

(1) 会員状況(平成28年9月1日現在)

正会員：167名、賛助会員：47名

(2) 入会・退会

正会員入会：川越 秀一 先生(平成28年 4月 1日付)

北島 潤弥 先生(平成28年 4月 1日付)

吉留 綾 先生(平成28年 4月 1日付)

賛助会員入会：増田 好成 先生(平成28年11月26日付)

賛助会員退会：菊田 勇 先生(平成28年11月26日付)

(3) 事業報告

H27年10月15日(木)：第1回役員会(年度始め)「ホテルメリージュ マンダリン」

11月23日(祝)：第18回同門会テニス大会(優勝：松本 英裕 先生)

11月28日(土)：第2回役員会・総会・講演会「宮崎観光ホテル」

：第11回同門会マージャン大会(優勝：神蘭 豊 先生)

11月29日(日)：第24回同門会ゴルフ大会(優勝：園田 典生 先生)

12月：同門会名簿・会則発行

H28年 4月16日(土)：第3回役員会、新入生歓迎会「宮崎観光ホテル」

8月末：第27号同門会誌発行

9月 1日(木)：第4回役員会「ホテルメリージュ マンダリン」

(4) 教室支援(留学、学会等)

(5) 会計報告

平成28年度決算は監査報告があり総会にて承認された。

## 2. 平成29年度 移行期(H28.10/1~H29.3/31)事業計画・予算

- (1) 平成29年度の予算案は総会 (H28. 11/26) にて承認された。
- (2) 役員会開催 第1回役員会 (平成28年10月24日、ホテルメリージュ マンダリン)  
第2回役員会 (平成28年11月26日、宮崎観光ホテル)  
第3回役員会 (平成29年 3月28日、ホテルメリージュ マンダリン)
- (3) 講演会:H28.11/26  
講演『TKA入門』  
橋病院 院長 柏木 輝行 先生
- (4) 奨励賞 (第11回) : H28. 11/26受賞  
福嶋 秀一郎 先生『地域医療への貢献と積極的な社会活動』  
  
\* 授賞式および講演は平成29年4月8日の新入医局員歓迎会で実施
- (5) 親睦行事 : 平成28年11月23日(祝) : 第19回同門会テニス大会  
平成28年11月26日(土) : 第12回同門会マージャン大会  
平成28年11月27日(日) : 第25回同門会ゴルフ大会
- (6) 同門会会則名簿発行 : 平成28年11月
- (7) 同門会誌第28号発行 (平成29年7月末)
- (8) 教室支援 (留学・学会・研究助成など) :

## 3. その他

平成29年度移行期 (H28. 10/1~H29. 3/31)  
同門会総会予定 : H29. 4. 8 (土)

## 同門会総会 議事報告

平成29年度総会：平成29年4月8日(土) 17:30~18:30 宮崎観光ホテル

### 1. 平成29年度 移行期(H28.10/1~H29.3/31)事業報告

(1) 会員状況 (平成29年3月27日現在)

正会員：167名、賛助会員：48名

(2) 入会・退会

賛助会員入会：門内 一郎 先生 (平成29年4月8日付)

：獅子目 亨 先生 (平成29年4月8日付)

(3) 事業報告

H28年10月24日(月)：第1回役員会 (年度始め) 「ホテルメリージュ マンダリン」

11月23日(祝)：第19回同門会テニス大会 (優勝：松本 英裕 先生)

11月26日(土)：第2回役員会・総会・講演会「宮崎観光ホテル」

：第12回同門会マージャン大会 (中止)

11月27日(日)：第25回同門会ゴルフ大会 (優勝：三股 恒夫 先生)

12月：同門会名簿・会則発行

H29年 3月28日(火)：第3回役員会「ホテルメリージュ マンダリン」

(4) 教室支援 (留学、学会等)

(5) 会計報告

平成29年度 移行期決算は監査報告があり総会にて承認された。



## 2. 平成29年度(H29.4/1～H30.3/31)事業計画・予算

- (1) 平成29年度の予算案は総会（H29.4/8）にて承認された。
- (2) 役員会開催 第1回役員会（平成29年4月8日、宮崎観光ホテル）  
第2回役員会（平成29年10月頃、ホテルメリージュ マンダリン）  
第3回役員会（平成29年11月25日、宮崎観光ホテル）  
第4回役員会（平成30年3月頃、ホテルメリージュ マンダリン）
- (3) 講演会:H29.11/25  
講演『下肢のスポーツ障害』  
藤元総合病院 整形外科 診療科部長 園田 典生 先生
- (4) 奨励賞（第11回）：H28.11/26受賞  
福嶋 秀一郎 先生『地域医療への貢献と積極的な社会活動』  
  
\* 授賞式および講演は平成29年4月8日の新入医局員歓迎会で実施
- (5) 親睦行事：平成29年11月23日(祝)：第20回同門会テニス大会  
平成29年11月25日(土)：第13回同門会マージャン大会  
平成29年11月26日(日)：第26回同門会ゴルフ大会
- (6) 同門会会則名簿発行：平成29年11月
- (7) 同門会誌第28号発行（平成29年7月末）
- (8) 新入医局員歓迎会（第1回役員会）：H29.4/8（宮崎観光ホテル）
- (9) 教室支援（留学・学会・研究助成など）：  
第43回日整会スポーツ医学会学術集会（H29.9/8・9 シーガイアコンベンションセンター）

## 3. その他

- (1) 平成29年度（H29.4/1～H30.3/31）  
同門会総会：H30.4.14（土）
- (2) 年会費請求書の郵送時期を1月頃から7月頃へ変更
- (3) 役員の年期が平成27年12月～平成29年11月  
役員改選は平成30年4月 総会にて行う予定
- (4) 平成29年11月25日（土）同門会忘年会にて教授還暦のお祝い実施予定

## 教室同門の研究業績

### ◆著 書

- 1) 薬と検査 2015  
高村徳人, 徳永仁, 帖佐悦男  
南山堂, 2015, 3
- 2) こどものスポーツ外来—親もナットク! このケア・この説明— IIIスポーツにより生じる特徴的な傷害の概論 2. 上肢の疲労骨折(共著)  
田島卓也, 帖佐悦男  
株式会社全日本病院出版会, 2015, 5
- 3) 整形外科医師随想集 人として整えつづけて(共著)  
帖佐悦男, 中村嘉宏  
株式会社すがの印刷, 2015, 6
- 4) もしドク 2015 Vol.6 子どもがロコモティブシンドロームに! ?  
帖佐悦男  
株式会社HIROKA, 2015, 6
- 5) 子どもと発育発達 日本発育発達学会編 Vol.13 No.2  
特集: からだの成長と調節機能—子どもの運動器検診—なぜ子どもの頃からロコモ予防が必要か—  
帖佐悦男  
株式会社杏林書院, 2015, 7
- 6) VIVA! ORTHO  
帖佐悦男  
アステラス製薬株式会社, 2015, 7
- 7) ロコモティブシンドロームのすべて—IVロコモティブシンドロームを構成する疾患—変形性膝関節症—変形性膝関節症の治療—運動療法(共著)  
鳥取部光司, 帖佐悦男, 宮崎茂明  
株式会社診断と治療社, 2015, 7

- 8) ロコモティブシンドロームのすべて V ロコモティブシンドロームの対策 運動継続支援とロコモコール(共著)  
帖佐悦男, 中村耕三, 藤野圭司  
株式会社診断と治療社, 2015, 7
- 9) ロコモティブシンドロームのすべて VII ライフステージ・障害に合わせたロコモティブシンドローム対策 子どもの運動器検診—なぜ子どもの頃からロコモ予防が必要か?  
帖佐悦男  
株式会社診断と治療社, 2015, 7
- 10) 運動と骨粗鬆症 患者説明のワンポイント 骨粗鬆症患者への運動指導のポイント  
帖佐悦男  
第一三共株式会社, 2015, 8
- 11) 養護教諭通信 2015.9号 子どもの体に、今、何が起きているのか?  
帖佐悦男  
株式会社のまど書房, 2015, 9
- 12) 大腿骨近位部骨折ゼロを目指す治療・予防戦略—他職種連携による取り組み— 【第4章】治療と予防のための取り組み、他職種連携とその育成 2. ロコパーク：ロコモザワールド宮崎  
帖佐悦男  
株式会社医薬ジャーナル社, 2015, 10
- 13) 「スマホ社会の落とし穴～子どもの脳とからだにこんな異変が！～」 スマホ社会と子どもの運動器障害  
帖佐悦男  
日本小児科医会会報, 2015, 10
- 14) 下肢臨床症候の診かた・考え方 【I編】股関節・骨盤部  
帖佐悦男  
株式会社南山堂, 2015, 11
- 15) 下肢臨床症候の診かた・考え方 【I編】股関節・骨盤部 第1章：股関節・骨盤・大腿部の解剖とバイオメカニクス  
帖佐悦男, 中村嘉宏  
株式会社南山堂, 2015, 11

- 16) 下肢臨床症候の診かた・考え方 【I編】股関節・骨盤部 第2章：股関節・骨盤部の臨床診断  
総論 思春期・成人の診かた  
帖佐悦男  
株式会社南山堂, 2015, 11
- 17) まるごと股関節これ1冊 【第2章】成人股関節疾患の病態 9大腿骨寛骨臼インピンジメント  
(FAI)  
帖佐悦男  
株式会社メディカ出版, 2015, 11
- 18) アスリートを救え スポーツ外傷・障害の画像診断完全攻略  
帖佐悦男, 石田康行, 田島卓也, 三橋龍馬, 井上篤, 菅田耕, 大倉俊之,  
梅崎哲矢, 山口奈美, 村上恵美, 中村志保子, 大田智美, 濱中秀昭,  
黒木修司, 川添浩史, 河原勝博, 小島岳史, 山本恵太郎, 園田典生  
株式会社医学書院, 2015, 11
- 19) CLINICIAN vol.62 no.644 地域におけるロコモ度認知向上に向けた取り組みーロコモザワー  
ルド宮崎構想ー  
帖佐悦男  
エーザイ株式会社, 2015, 12
- 20) 京都リハビリテーション医学研究会会誌第2巻  
帖佐悦男  
京都リハビリテーション医学研究会, 2015, 12

◆原 著

- 1) 多発性硬化症 (MS) を合併した頸髄症に手術療法を施行した1例  
濱中秀昭, 猪俣尚規, 比嘉聖, 永井琢哉, 山口洋一郎, 今里浩之, 帖佐悦男  
整形外科と災害外科, 64(1) : p25-28, 2015, 3
  
- 2) 自家ハムストリング腱を用いたbi-socket法によるPCL再建術の術後短期成績  
田島卓也, 河原勝博, 山口奈美, 石田康行, 谷口昇, 帖佐悦男  
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌 (JOSKAS), 40(1) : p176-177,  
2015, 3
  
- 3) Possible association of single nucleotide polymorphisms in the 3' untranslated region  
of HOXB9 with acetabular overcoverage(共著)  
T Sekimoto, S Kurogi, T Funamoto, T Ota, S Watanabe, T Sakamoto,  
H Hamada, E Chosa.  
Bone & Joint Research, 4(4) : p50-55, 2015, 4
  
- 4) Prospective Comparisons of Femoral Tunnel Enlargement With 3 Different Postoperative  
Immobilization Periods After Double-Bundle Anterior Cruciate Ligament Reconstruction  
With Hamstring Grafts(共著)  
Takuya Tajima, Etsuo Chosa, Katsuhiko Kawahara, Nami Yamaguchi.  
Arthroscopy, 31(4) : p651-658, 2015, 4
  
- 5) Predictive factors of Osaka Medical College(OMC) brace treatment in patients with  
adolescent idiopathic scoliosis(共著)  
Hiroshi Kuroki, Naoki Inomata, Hideaki Hamanaka, Kiyoshi Higa,  
Etsuo Chosa, Naoya Tajima.  
Scoliosis, 10(11), 2015, 4
  
- 6) Efficacy of the Osaka Medical College(OMC) brace in the treatment of adolescent  
idiopathic scoliosis following Scoliosis Research Society brace studies criteria(共著)  
Hiroshi Kuroki, Naoki Inomata, Hideaki Hamanaka, Kiyoshi Higa,  
Etsuo Chosa, Naoya Tajima.  
Scoliosis, 10(12), 2015, 4

- 7) Treatment Strategy for Cervical Myelopathy in Patients with Athetoid Cerebral Palsy(共著)  
Hiroshi Kuroki, Shinichiro Kubo, Hideaki Hamanaka, Naoki Inomata,  
Kiyoshi Higa, Etsuo Chosa.  
International Journal of Orthopaedics, 2(2) : p243-249, 2015, 4
- 8) 大腿骨転子部骨折に対してガンマネイル手術翌日からの全荷重は悪影響をもたらすか  
梅崎哲矢, 森治樹, 三橋龍馬, 李徳哲  
骨折, 37(2) : p398-401, 2015, 4
- 9) Early therapeutic intervention with methotrexate prevents the development of  
rheumatoid arthritis in patients with recent-onset undifferentiated arthritis: A  
prospective cohort study.  
Kudo-Tanaka E, Shimizu T, Nii T, Teshigawara S, Yoshimura M,  
atanabe A, Tslfi S, Tsuboi H, Hirao M, Yura A, Harada Y, Sueishi M,  
Suenaga, Chiba N, Tonai T, Saisho K, Ogata A, Matsushita M, Hashimoto J,  
Ohshima S, Tohma S, Saeki Y.  
Modern Rheumatology, 25, 2015, 4
- 10) 少年野球検診で発見された上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の経過(共著)  
石田康行, 帖佐悦男, 河原勝博, 山口奈美, 長澤誠  
日本整形外科スポーツ医学会雑誌, 35(2) : p139-143, 2015, 5
- 11) Two siblings with neuropathic scoliosis caused by Chiari malformation type I with  
syringomyelia(共著)  
Hiroshi Kuroki, Naoki Inomata, Hideaki Hamanaka, Kiyoshi Higa,  
Etsuo Chosa, Naoya Tajima.  
Journal of Orthopaedic Science, 20(3) : p579-583, 2015, 5
- 12) Pseudoaneurysm as a complication of shoulder arthroscopy(共著)  
Yasuyuki Ishida, Etsuo Chosa, Noboru Taniguchi.  
Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy, 23(5) : p1549-1551,  
2015, 5
- 13) フルスレッドアンカーを用いたスーチャーブリッジ法後のアンカー孔の検討(共著)  
石田康行, 帖佐悦男, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 中村志保子  
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌, 40(3) : p587-590, 2015, 6

- 14) 大腿骨転子部骨折に対する120° $\gamma$ ネイルの使用経験—成績不良例から学ぶもの—(共著)  
小島岳史, 松岡篤, 甲斐糸乃, 柏木輝行, 帖佐悦男  
骨折, 37(3) : p720-724, 2015, 6
- 15) Pneumococcal polysaccharide vaccination in rheumatoid arthritis patients receiving tacrolimus  
Kiyoshi Migita, corresponding author Yukihiro Akeda, Manabu Akazawa, Shigeto Tohma, Fuminori Hirano, Haruko Ideguchi, Ryutaro Matsumura, Eiichi Suematsu, Tomoya Miyamura, Shunsuke Mori, Takahiro Fukui, Yasumori Izumi, Nozomi Iwanaga, Hiroshi Tsutani, Kouichirou Saisyō, Takao Yamanaka, Shiro Ohshima, Takao Sugiyama, Yojiro Kawabe, Masao Katayama, Yasuo Suenaga, Akira Okamoto, Hisaji Ohshima, Yasumasa Okada, Kenji Ichikawa, Shigeru Yoshizawa, Kenji Kawakami, Toshihiro Matsui, Hiroshi Furukawa, and Kazunori Oishi.  
Arthritis Research & Therapy, 17, 2015, 6
- 16) 宮崎県における2014春季キャンプに対するメディカルサポート報告—キャンプの地の総合的メディカルサポート体制の構築にむけて—(共著)  
小島岳史, 田島卓也, 帖佐悦男, 石田康行, 河原勝博, 山口奈美, 日吉優, 永井琢哉, 園田典生, 松岡知己, 井上篤, 田島直也, 山本恵太郎, 樋口潤一  
九州・山口スポーツ医・科学研究会誌, (27) : p4-7, 2015, 7
- 17) Trade-off between stress shielding and initial stability on an anatomical cementless stem shortening: in-vitro biomechanical study.  
Yamako G, Chosa E, Totoribe K, Watanabe S, Sakamoto T.  
Medical Engineering & Physics, 37(8) : p820-825, 2015, 8
- 18) Influence of leg-length discrepancy on anterior acetabular coverage using false profile image(共著)  
Masaki Kudo, Tomohisa Sekimoto, Takero Sakamoto, Etsuo Chosa.  
Journal of Orthopaedic Science, 20(5) : p861-867, 2015, 9
- 19) ガンマネイル手術におけるコンプレッションの有効性についての検討  
梅崎哲矢, 森治樹, 三橋龍馬, 山口洋一郎  
Hip joint, 41 : p318-320, 2015, 9

- 20) 思春期特発性側弯症に対する装具療法の現状(共著)  
黒木浩史, 田島直也  
Journal of Spine Research, 6(11) : p1592-1598, 2015, 11
- 21) Intracalvarial Penetration of a Halo Pin During Treatment of an Odontoid Fracture in an Elderly Patient: A Case Report(共著)  
Hiroshi Kuroki, Takuya Hagai, Hideaki Hamanaka, Naoki Inomata,  
Kiyoshi Higa, Etsuo Chosa, Shinji Yamashita, Hideo Takeshima.  
MEDICAL SCIENCE CASE REPORTS, 2 : p58-63, 2015, 12
- 22) 治療に難渋した亜急性・陳旧性環軸椎回旋位固定の検討(共著)  
永井琢哉, 濱中秀昭, 猪俣尚規, 比嘉聖, 李徳哲, 今里浩之, 帖佐悦男  
Journal of Spine Research, 6(12) : p1758-1760, 2015, 12
- 23) 外反膝に対する人工膝関節置換術(共著)  
柏木輝行, 矢野良英, 花堂祥治, 福島克彦  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p1-3, 2015, 12
- 24) 肩鎖関節脱臼に対する新しい手術デバイス+B42 “Zip Tight” の使用経験(共著)  
小島岳史, 岡村龍, 松岡篤, 黒田宏, 帖佐悦男  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p5-6, 2015, 12
- 25) 外反母趾に対するMitchell変法による治療成績(共著)  
松岡知己, 大倉俊之, 福田一  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p7-8, 2015, 12
- 26) 当科での外反母趾に対する手術治療の経験(共著)  
森田雄大, 栗原典近, 市原久史, 公文崇詞, 河野雅充, 永井琢哉  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p9-11, 2015, 12
- 27) 当院における大腿骨転子下骨折術後のADL～歩行能力を中心とした治療成績～(共著)  
大塚記史, 浪平辰州, 増田寛  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p15-16, 2015, 12
- 28) 鎖骨骨折ならびに肩鎖関節脱臼に対する手術の際の鎖骨上神経損傷について(共著)  
三橋龍馬, 森治樹, 梅崎哲矢, 山口洋一朗  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p17-18, 2015, 12



- 29) ブーメラン型cageを用いたMISt(共著)  
河野勇泰喜, 野崎正太郎, 井上篤, 久保紳一郎, 田島直也  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p19-21, 2015, 12
- 30) 当院での下肢重症虚血による下腿壊死・難治性皮膚潰瘍に対する治療(共著)  
山口洋一朗, 森治樹, 三橋龍馬, 梅崎哲矢  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p23-24, 2015, 12
- 31) 非定型大腿骨骨折の検討(共著)  
小牧亘, 深野木快士, 濱田浩朗, 帖佐悦男  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p39-42, 2015, 12
- 32) 高度内反変形膝に対する人工膝関節置換術(共著)  
柏木輝行, 矢野良英, 花堂祥治, 福島克彦  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p43-44, 2015, 12
- 33) 最近の小児の上腕骨遠位部骨折の治療成績(共著)  
松岡知己, 大倉俊之, 福田一  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p45-46, 2015, 12
- 34) 不安定型肘関節脱臼骨折(terrible triad損傷)の1例(共著)  
坂田勝美, 吉田修子, 海田博志, 益山松三, 山本恵太郎  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p27-48, 2015, 12
- 35) 当科における上腕骨遠位端骨折の治療経験(共著)  
森治樹, 三橋龍馬, 梅崎哲矢, 山口洋一朗  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p49-54, 2015, 12
- 36) 当科で治療に難渋した小児上腕骨遠位端骨折症例(共著)  
森田雄大, 栗原典近, 市原久史, 公文崇詞  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p57-59, 2015, 12
- 37) 外傷性膝関節脱臼の2例(共著)  
増田寛, 浪平辰州, 大塚記史  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p61-62, 2015, 12

- 38) 橈骨動脈触知不能であった小児上腕骨顆上開放骨折の1例(共著)  
三橋龍馬, 森治樹, 梅崎哲矢, 山口洋一郎  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p63-64, 2015, 12
- 39) 人工股関節の緩みに対する臼蓋再建の治療戦略(共著)  
戸田雅, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗, 池尻洋史,  
中村嘉宏, 船元太郎, 日吉優, 川野啓介, 斎藤由希子  
宮崎整形外科懇話会論文集, (20) : p65-66, 2015, 12
- 40) Bosworth骨折の2例  
小島岳史, 黒田宏, 岡村龍, 松岡篤, 帖佐悦男  
整形外科と災害外科, 64(4) : p837-841, 2015, 12
- 41) 大腿骨頸部から転子部にかけて縦割れを伴う大腿骨近位部骨折に対し骨接合術を行った2症例  
梅崎哲矢, 森治樹, 三橋龍馬, 山口洋一郎  
整形外科と災害外科, 64(2) : p820-823, 2015, 12
- 42) 肘頭骨折, 橈骨頭脱臼に上腕骨外顆骨折, 尺骨骨塑性変形を伴う小児Monteggia類似損傷の1例  
梅崎哲矢, 森治樹, 三橋龍馬, 山口洋一郎  
整形外科と災害外科, 64(4) : p783-787, 2015, 12
- 43) Effect of abatacept on the immunogenicity of 23-valent pneumococcal polysaccharide vaccination (PPSV23) in rheumatoid arthritis patients.  
Migita K, Akeda Y, Akazawa M, Tohma S, Hirano F, Ideguchi H,  
Kozuru H, Jiuchi Y, Matsumura R, Suematsu E, Miyamura T, Mori S, Fukui T,  
Izumi Y, Iwanaga N, Tsutani H, Saisyo K, Yamanaka T, Ohshima S,  
Mori N, Matsumori A, Takahi K, Yoshizawa S, Kawabe Y, Suenaga Y,  
Ozawa T, Hamada N, Komiya, Matsui T, Furukawa H, Oishi K.  
Arthritis Research & Therapy, 17, 2015, 12
- 44) Opsonic and Antibody Responses to Pneumococcal Polysaccharide in Rheumatoid Arthritis Patients Receiving Golimumab Plus Methotrexate  
Migita K, Akeda Y, Akazawa M, Tohma S, Hirano F, Ideguchi H,  
Matsumura R, Suematsu E, Miyamura T, Mori S, Fukui T, Izumi Y, Iwanaga N,  
Jiuchi Y, Kozuru H, Tsutani H, Saisyo K, Yamanaka T, Ohshima S,  
Mori N, Matsumori A, Kikagawa K, Takahi H, Ozawa T, Hamada N, Nakajima K,  
Nagai H, Tamura N, Suenaga Y, Kawabe M, Matsui T, Furukawa H, Kawakami K.  
Medicine, 94(52), 2015, 12

## ◆ 総 説

1) ロコモティブシンドロームを知っていますか？

帖佐悦男  
健, 43(10) : p31-35, 2015, 1

2) いまさら聞けない人工関節のギモン

帖佐悦男  
整形外科看護, 20(1) : p6-10, 2015, 1

3) ロコモリゾートプログラム —ロコモザワールド宮崎—

帖佐悦男  
臨床スポーツ医学, 32(3) : p296-298, 2015, 3

4) 野球肘の病態と治療 —選手を守るために—

石田康行, 帖佐悦男  
宮崎体協, 209 : p19-22, 2015, 3

5) 骨盤・股関節のスポーツ障害の治療と予防

田島卓也, 帖佐悦男  
臨床スポーツ医学, 32(4) : p378-383, 2015, 4

6) 骨盤・股関節・大腿部のスポーツ障害—病態・評価・治療—

帖佐悦男  
Monthly Book MEDICAL REHABILITATION, 182 : p1-9, 2015, 4

7) Patrickテスト

帖佐悦男  
脊椎脊髄ジャーナル, 28(4) : p322-324, 2015, 4

8) 野球肘検診の普及—産官学連携の役割とその取り組み—

帖佐悦男  
臨床スポーツ医学, 32(7) : p608-612, 2015, 7

9) 日本ラグビーフットボール協会の取り組み

古谷正博, 田島卓也  
関節外科, 34(8) : p798-801, 2015, 7

- 10) スポーツ障害の発症メカニズム  
田島卓也, 帖佐悦男  
臨床スポーツ医学, 32(8) : p710-713, 2015, 8
- 11) 関節リウマチの薬物療法  
濱田浩朗, 帖佐悦男  
関節外科, 34(10) : p52-56, 2015, 10
- 12) 【最新 整形外科医が知っておきたい薬の使い方】 特殊な薬剤 ボツリヌス毒素(解説/特集)  
川野彰裕, 帖佐悦男  
関節外科, 34 : p200-204, 2015, 10
- 13) レジデントのための関節鏡—手技のポイントと合併症対策—  
帖佐悦男  
関節外科, 34(11) : p7-7, 2015, 11
- 14) 連載 これだけは知っておきたい、整形外科的徒手検査法 第1回 股関節Patrick test  
帖佐悦男  
関節外科, 35(1) : p94-95, 2015, 12

## ◆学会報告

- 1) 小児の運動器受診；予防・早期発見の重要性  
帖佐悦男  
第31回九州小児整形外科集談会，2015，1，福岡
- 2) 遺残性亜脱臼、臼蓋形成不全に対する骨性補正手術の長期成績  
川野彰浩，柳園賜一郎，門内一郎，帖佐悦男，渡邊信二，長鶴義隆  
第31回九州小児整形外科集談会，2015，1，福岡
- 3) リハビリテーションに必要なバイオメカニクス  
帖佐悦男  
第1回京都リハビリテーション医学研究会学術集会，2015，2，京都
- 4) 幼児に生じた手関節腫瘍の一例  
矢野浩明  
第36回九州手外科学研究会，2015，2，福岡
- 5) 少年野球検診で発見された上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の経過  
石田康行  
第36回九州手外科学研究会，2015，2，福岡
- 6) 重度のcuff tear arthropathyに対して広背筋・大胸筋・肩甲下筋部分移行を併用した小径骨頭による人工骨頭置換術を行った1例  
谷口昇，末永直樹，大泉尚美，三好直樹，石田康行，帖佐悦男  
第45回日本人工関節学会，2015，2，福岡
- 7) 成長期の運動器の特徴とスポーツ外傷・障害  
帖佐悦男  
第29回長崎県スポーツ医学研修会，2015，2，長崎
- 8) 成長期のスポーツ障害  
帖佐悦男  
第13回徳島スポーツ整形外科研究会，2015，2，徳島
- 9) 宮崎県における高次脳機能障害支援の現状と今後の課題  
中武潤，永田真哉，横山茉未，鳥取部光司，帖佐悦男  
第37回宮崎リハビリテーション研究会，2015，2，宮崎

- 10) 軽度知的障害・精神疾患を呈した症例に対し行ったPACEの訓練効果 - 会話・談話分析における質的検討 -  
新名由貴, 金岡敦, 木本七絵, 鳥取部光司, 帖佐悦男  
第37回宮崎リハビリテーション研究会, 2015, 2, 宮崎
- 11) 介護予防事業終了3ヶ月後の栄養状態アンケート調査に関して  
迫田勇一郎, 満安隆之, 砂川一馬, 茂利久嗣, 圓福陽介, 蓑原勝哉,  
前原孝政, 植村郁, 渡辺一徹, 野海渉, 太田尾祐史, 児玉香織, 小牧亘  
第37回宮崎リハビリテーション研究会, 2015, 2, 宮崎
- 12) 整形外科病棟における多職種連携のリハビリ・NST活動の現状  
豊永恵子, 後藤智子, 浪平辰州, 増田寛, 大塚記史, 唐津杏奈  
第37回宮崎リハビリテーション研究会, 2015, 2, 宮崎
- 13) 転倒リスク簡易評価表の有用性検討～転倒リスクと疼痛・変形性膝関節症・骨粗鬆症との関連～  
茂利久嗣, 満安隆之, 砂川一馬, 前原孝政, 蓑原勝哉, 圓福陽介, 植村郁,  
野海渉, 渡辺一徹, 迫田勇一郎, 太田尾祐史, 児玉香織, 小牧亘  
第37回宮崎リハビリテーション研究会, 2015, 2, 宮崎
- 14) Modified Falls Efficacy Scaleを使用した入院患者の転倒恐怖感に関する調査  
河内一猛, 元山知香, 下野紗央里, 荒武舞, 塩崎猛, 柏木輝行, 狩野季代  
第37回宮崎リハビリテーション研究会, 2015, 2, 宮崎
- 15) ロコモコール（訪問型介護予防事業）の紹介 ～実際とその意義について～  
重草貴文, 宮崎茂明, 山下彩, 帖佐悦男  
第37回宮崎リハビリテーション研究会, 2015, 2, 宮崎
- 16) 鏡視下腱板修復術後の疼痛が臨床成績に及ぼす影響  
今村秋雄, 宮崎茂明, 石田康行, 谷口昇, 藤浦まなみ, 鶴田来美,  
鳥取部光司, 帖佐悦男  
第37回宮崎リハビリテーション研究会, 2015, 2, 宮崎
- 17) 変形性股関節症の2症例に考案した中敷使用した経験  
平部久彬, 木之下広幸, 帖佐悦男  
第37回宮崎リハビリテーション研究会, 2015, 2, 宮崎

- 18) 大腿骨近位部骨折における術前待機期間とその影響  
渡辺一徹，迫田勇一郎，野海渉，茂利久嗣，圓福陽介，蓑原勝哉，前原孝政，  
満安隆之，砂川一馬，植村郁，太田尾祐史，児玉香織，小牧亘  
第37回宮崎リハビリテーション研究会，2015，2，宮崎
- 19) 股関節筋群解離術後の脳性麻痺児に対する3次元歩行分析の検討  
小島成喜，川野彰裕，横山浩一郎，柳園賜一郎  
第37回宮崎リハビリテーション研究会，2015，2，宮崎
- 20) 当院でのロボットスーツHALの運用  
塚本信也，森友貴，南濱希美，帖佐悦男，鳥取部光司，竹島秀雄，渡邊信二，  
宮崎茂明，山子剛  
第37回宮崎リハビリテーション研究会，2015，2，宮崎
- 21) 当院における猫咬創の治療経験  
麻生邦一，内田和宏，岡崎啓治  
第36回九州手の外科研究会，2015，2，福岡
- 22) 健やかに老いるための問題点と取組み ～ロコモを通して～  
帖佐悦男  
第16回九州予防医学研究会，2015，3，宮崎
- 23) 当院における腎機能障害を有する関節リウマチ患者の薬剤使用 ～2012年度Ninja報告との比較～  
吉川教恵，税所幸一郎，菅田耕，帖佐悦男，濱田浩朗  
第49回九州リウマチ学会，2015，3，福岡
- 24) 第16回宮崎シーガイアトライアスロン大会での「宮大健康スポーツナース」の救護活動を振り返って  
大津山加奈子，木下俊太，藤浦まなみ，水永豊子，日高真美子，船元太郎，  
落合秀信，帖佐悦男  
第52回宮崎県スポーツ学会，2015，3，宮崎
- 25) 内側縦アーチと下腿深層筋との関係について  
安達亮太，塩崎猛，柏木輝行，狩野季代  
第52回宮崎県スポーツ学会，2015，3，宮崎

- 26) シャドーピッチングの運動学的解析  
齋合優, 宮崎茂明, 石田康行, 鳥取部光司, 帖佐悦男  
第52回宮崎県スポーツ学会, 2015, 3, 宮崎
- 27) 高校空手道選手に対する腰痛と腰椎分離症  
齋藤由希子, 李徳哲, 矢野浩明, 谷口昇, 河原勝博, 田島卓也, 山口奈美,  
甲斐糸乃, 黒木修司, 帖佐悦男  
第52回宮崎県スポーツ学会, 2015, 3, 宮崎
- 28) 当科での陸上競技選手に対する体外衝撃波治療について  
河原勝博, 田島卓也, 山口奈美, 黒木修司, 帖佐悦男  
第52回宮崎県スポーツ学会, 2015, 3, 宮崎
- 29) サッカー選手の鎖骨骨幹部骨折の治療戦略 —高校サッカー選手権直前受傷の3例の経験から—  
小島岳史, 岡村龍, 松岡篤, 黒田宏, 柏木輝行  
第52回宮崎県スポーツ学会, 2015, 3, 宮崎
- 30) BTBを使用したremnant温存ACL補強術  
横江琢示, 田島卓也, 河原勝博, 山口奈美, 矢野浩明, 谷口昇, 石田康行,  
甲斐糸乃, 上野晃寛, 帖佐悦男  
第52回宮崎県スポーツ学会, 2015, 3, 宮崎
- 31) 有痛性分裂膝蓋骨に対する当院での治療方針  
吉川大輔, 園田典生  
第52回宮崎県スポーツ学会, 2015, 3, 宮崎
- 32) Ti-33.6Nb-4Sn alloy femoral stem with gradation of Young's modulus reduces stress shielding after THA: A Biomechanical Study  
Go Yakako, Etsuo Chosa, Koji Totoribe, Shuji Hamada, Norikazu Yamada,  
Eiji Itoi  
Orthopaedic Research Society 2015 Annual Meeting, 2015, 3, USA
- 33) 運動器リハビリテーション—過去・現在・未来—  
帖佐悦男  
第29回日本医学会総会2015関西, 2015, 4, 京都



- 34) 当院における新しい骨粗鬆症治療について  
渡邊信二  
第35回宮崎県臨床整形外科医会学術講演会, 2015, 4, 宮崎
- 35) 下肢人工関節手術手技の実際—2800例の自験例から  
柏木輝行  
第35回宮崎県臨床整形外科医会学術講演会, 2015, 4, 宮崎
- 36) 小中学校における運動器検診の必要性について  
河原勝博  
第49回宮崎県北地区整形外科医会講演会, 2015, 4, 宮崎
- 37) 新しい骨粗鬆症治療と医療連携  
渡邊信二  
第49回宮崎県北地区整形外科医会講演会, 2015, 4, 宮崎
- 38) 小児上腕骨顆上骨折に対する背側ブロックピンと外側鋼線刺入固定を併用した経皮的鋼線刺入  
固定術の経験 第2報  
梅崎哲矢, 森治樹, 三橋龍馬, 山口洋一郎  
第70回宮崎整形外科懇話会, 2015, 5, 宮崎
- 39) 初診時に橈骨動脈拍動触知不能であった小児上腕骨顆上解放骨折の1例  
三橋龍馬, 森治樹, 梅崎哲矢, 山口洋一郎  
第70回宮崎整形外科懇話会, 2015, 5, 宮崎
- 40) 不安定型肘関節脱臼骨折 (terrible triad損傷) の1例  
坂田勝美, 吉田修子, 海田博志, 益山松三, 山本恵太郎  
第70回宮崎整形外科懇話会, 2015, 5, 宮崎
- 41) 外傷性膝関節脱臼の2例  
増田寛, 浪平辰州, 大塚記史  
第70回宮崎整形外科懇話会, 2015, 5, 宮崎
- 42) 非定型大腿骨骨折の検討  
小牧亘, 深野木快士, 濱田浩朗, 帖佐悦男  
第70回宮崎整形外科懇話会, 2015, 5, 宮崎

- 43) 保存的加療を行った非定型大腿骨骨折の1例（保存的加療から得た反省）  
和氣聡，鈴木周一，小菌敬洋，首藤敏秀  
第70回宮崎整形外科懇話会，2015，5，宮崎
- 44) 手根管症候群質問票と超音波検査で評価した手根管症候群の治療成績  
大倉俊之，松岡知己，福田一  
第70回宮崎整形外科懇話会，2015，5，宮崎
- 45) 検診で発見された上腕骨小頭離断性骨軟骨炎治療の問題点  
石田康行，帖佐悦男，矢野浩明，谷口昇，山口奈美，大田智美，長澤誠  
第70回宮崎整形外科懇話会，2015，5，宮崎
- 46) 人工股関節の緩みに対する臼蓋再建の治療戦略  
戸田雅，帖佐悦男，坂本武郎，渡邊信二，濱田浩朗，池尻洋史，中村嘉宏，  
船元太郎，日吉優，川野啓介，齊藤由希子  
第70回宮崎整形外科懇話会，2015，5，宮崎
- 47) 高度内反変形膝に対する人工膝関節置換術  
柏木輝行，矢野良英，花堂祥治，福島克彦  
第70回宮崎整形外科懇話会，2015，5，宮崎
- 48) 当科で治療に難渋した小児上腕骨遠位端骨折症例  
森田雄大，栗原典近，市原久史，公文崇詞  
第70回宮崎整形外科懇話会，2015，5，宮崎
- 49) 当科における小児の上腕骨遠位端骨折の治療経験  
森治樹，三橋龍馬，梅崎哲矢，山口洋一郎  
第70回宮崎整形外科懇話会，2015，5，宮崎
- 50) 最近の上腕骨遠位部骨折の治療成績  
松岡知己，大倉俊之，福田一  
第70回宮崎整形外科懇話会，2015，5，宮崎

- 51) 重症下肢虚血救肢における集学的治療の重要性  
李徳哲, 森治樹, 三橋龍馬, 梅崎哲矢, 帖佐悦男  
第88回日本整形外科学会学術集会, 2015, 5, 兵庫
- 52) 小児の運動器疾患と学童期検診～ロコモ対策を含めて～  
帖佐悦男  
第4回北埼玉整形外科懇話会, 2015, 5, 東京
- 53) 学校における運動器検診モデル事業の成果と課題ー宮崎県2007-2012ー  
深尾悠, 帖佐悦男, 鳥取部光司, 濱田浩朗  
第52回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2015, 5, 新潟
- 54) 股関節疾患の画像診断におけるピットフォール  
帖佐悦男  
第62回山形整形外科セミナー, 2015, 5, 山形
- 55) 運動器疾患を取り囲む新たな概念ーロコモ予防とリハビリテーションー  
帖佐悦男  
第159回藤田保健衛生大学リハビリテーション部門研修会, 2015, 5, 愛知
- 56) ガンマネイルを施行した転子部骨折の再手術症例の検討  
三橋龍馬, 森治樹, 梅崎哲矢, 山口洋一郎, 李 徳哲, 帖佐悦男  
第89回日本整形外科学術集会, 2015, 5, 神奈川
- 57) 当科における仙骨脊索腫の手術成績  
濱中秀昭, 猪俣尚規, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 平川雄介, 横江琢示,  
帖佐悦男  
第83回西日本脊椎研究会, 2015, 6, 福岡
- 58) 白蓋再建に使用したハイドロキシアパタイトが仙骨孔を通り膀胱直腸障害をきたした1例  
比嘉聖, 濱中秀昭, 猪俣尚規, 永井琢哉, 李徳哲, 平川雄介, 横江琢示,  
帖佐悦男  
第83回西日本脊椎研究会, 2015, 6, 福岡
- 59) 大腿骨転子部不顕性骨折を合併した大腿骨大転子骨折の加療についての検討  
山口洋一郎, 森治樹, 三橋龍馬, 梅崎哲矢  
第129回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 6, 福岡

- 60) 寛骨臼後壁骨折に対する治療戦略—Kocher-LangenbeckアプローチならびにSurgical dislocationの有用性—  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 池尻洋史, 船元太郎, 日吉優,  
川野啓介  
第129回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 6, 福岡
- 61) コーン型モジュラステムを用いた人工股関節置換術の短期成績～新しいカッティングデバイスの使用経験～  
川野啓介, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 濱田浩朗, 池尻洋史, 中村嘉宏,  
船元太郎, 今里浩之, 平川雄介  
第129回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 6, 福岡
- 62) 腱板断裂性関節症に対して広背筋・大胸筋・肩甲下筋部分移行を併用した人工骨頭置換術を行った1例  
上野晃寛, 谷口昇, 矢野浩明, 石田康行, 田島卓也, 末永直樹, 帖佐悦男  
第129回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 6, 福岡
- 63) 地方大学におけるスポーツイベントへの出務状況  
横江琢示, 田島卓也, 河原勝博, 中村嘉宏, 山口奈美, 比嘉聖, 帖佐悦男  
第129回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 6, 福岡
- 64) 当院における特発性脊髄硬膜外血腫 (SEDH) の治療経験  
永井琢哉, 濱中秀昭, 猪俣尚規, 比嘉聖, 李徳哲, 齊藤由希子, 帖佐悦男  
第129回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 6, 福岡
- 65) 診断に苦渋した薬剤性Fanconi症候群による脆弱性骨折の2例  
今里浩之, 中村嘉宏, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗, 池尻洋史,  
船元太郎, 川野啓介, 平川雄介, 帖佐悦男  
第129回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 6, 福岡
- 66) 運動器疾患における疼痛マネジメント—スポーツ疾患を中心に—  
帖佐悦男  
第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2015, 6, 北海道
- 67) 整復を重視したスーチャーブリッジ法による鏡視下腱板修復術の成績  
石田康行, 矢野浩明, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 中村志保子,  
横江琢示, 帖佐悦男  
第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2015, 6, 北海道

- 68) BTBと薄筋腱を併用した2重束ACL再建術の臨床成績と画像評価  
田島卓也, 山口奈美, 石田康行, 谷口昇, 横江琢示, 帖佐悦男  
第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2015, 6, 北海道
- 69) BTBを使用したremnant温存ACL補強術  
横江琢示, 田島卓也, 山口奈美, 谷口昇, 石田康行, 帖佐悦男  
第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2015, 6, 北海道
- 70) TKA術後立位skyline viewとanterior knee painとの関連性の検討  
小島岳史, 柏木輝行, 帖佐悦男  
第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2015, 6, 北海道
- 71) 診断に苦渋した大腿骨頸部脆弱性骨折の2例ーアデホビルに伴うFanconi症候群に対する治療戦略  
に関してー  
今里浩之, 中村嘉宏, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗, 池尻洋史,  
船元太郎, 川野啓介, 帖佐悦男  
第41回日本骨折治療学会, 2015, 6, 奈良
- 72) 非定型大腿骨骨折の検討  
小牧亘, 濱田浩朗, 帖佐悦男  
第41回日本骨折治療学会, 2015, 6, 奈良
- 73) 偽関節を呈した脛骨近位insufficiency fractureの治療経験  
川野啓介, 帖佐悦男, 池尻洋史, 中村嘉宏  
第41回日本骨折治療学会, 2015, 6, 奈良
- 74) 超音波断層検査を用いた腱板機能評価を含む、上腕骨近位端骨折の治療成績に関する検討  
李徳哲, 森治樹, 三橋龍馬, 梅崎哲矢, 帖佐悦男  
第41回日本骨折治療学会, 2015, 6, 奈良
- 75) 大腿骨転子部骨折に対するGamma 3 nailの頸体角は各症例に合わせるべきなのか?  
小島岳史, 松岡篤, 李徳哲, 帖佐悦男, 柏木輝行  
第41回日本骨折治療学会, 2015, 6, 奈良
- 76) 骨頭骨折を合併した寛骨臼後壁骨折に対する治療戦略ーSurgical dislocationの有用性ー  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 濱田浩朗, 池尻洋史, 船元太郎,  
川野啓介  
第41回日本骨折治療学会, 2015, 6, 奈良

- 77) ロコモ基礎講座  
帖佐悦男  
第1回みやざきロコモサポーター養成講座, 2015, 6, 宮崎
- 78) 運動器疾患の病診連携－課題と展望－  
帖佐悦男  
豊後大野市医師会学術講演会, 2015, 6, 大分
- 79) スマホ社会と子どもの運動器障害  
帖佐悦男  
第26回日本小児科医会総会フォーラムin大分, 2015, 6, 大分
- 80) 外側小皮切によるスクリュー固定を併用したWesthues変法にて骨接合を行った踵骨骨折の1例  
三橋龍馬, 小島岳史, 野崎正太郎, 久保紳一郎, 田島直也  
第72回 宮崎整形外科懇話会 平成26年6月 宮崎市, 2015, 6, 宮崎
- 81) 当科における大腿骨頭すべり症の治療成績と合併症の検討  
川野彰裕, 柳園賜一郎, 門内一郎  
第54回日本小児股関節研究会, 2015, 6, 東京
- 82) 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート術後に遠位ロッキングスクリューがすべて折損した2症例  
梅崎哲矢, 森治樹, 三橋龍馬, 山口洋一郎  
第41回日本骨折治療学会, 2015, 6, 奈良
- 83) セルトリズマブペゴルの使用経験  
濱田浩朗  
都城リウマチ学術講演会, 2015, 7, 宮崎
- 84) 入院患者に対するロコモティブシンドローム予防の取り組み  
濱島路子, 井上圭子, 下宮園幸子, 上村海津子, 肥田成那, 益山美和,  
松岡知己, 大倉俊之, 福田一, 帖佐悦男  
第27回日本運動器科学会, 2015, 7, 宮崎
- 85) 総合型地域スポーツクラブにおける体力テストに関する研究  
山下彩, 蒲原真澄, 塩満智子, 鶴田来美, 宮崎茂明, 鳥取部光司, 帖佐悦男  
第27回日本運動器科学会, 2015, 7, 宮崎

- 86) ロコモ椅子を用いて立ち上がり能力測定と各種ロコモ指標の比較  
畑中陵, でん鋼, 山子剛, 帖佐悦男, 鳥取部光司  
第27回日本運動器科学会, 2015, 7, 宮崎
- 87) 歩行動作とロコモ指数25との相関に関する研究  
田村宏樹, 百瀬幸太, 川原文哉, 淡野公一, 塩満智子, 鶴田来美, 帖佐悦男  
第27回日本運動器科学会, 2015, 7, 宮崎
- 88) フォースプレートを用いたロコモモニタリングシステムの開発  
山子剛, 帖佐悦男, 鳥取部光司, 大塚裕貴, でん鋼  
第27回日本運動器科学会, 2015, 7, 宮崎
- 89) 可変型遺伝子トラップ法を用いた骨代謝異常をきたす新規遺伝子群のライブラリー構築  
中村志保子, 関本朝久, 船元太郎, 黒木修司, 大田智美, 永井琢哉, 帖佐悦男  
第33回日本骨代謝学会学術集会, 2015, 7, 東京
- 90) 歩ける喜び ロコモ予防 ～ロコモ予防で心もからだも健康長寿～  
帖佐悦男  
ロコモ予防市民公開講座, 2015, 7, 延岡
- 91) 歩ける喜び ロコモ予防 ～ロコモ予防で心もからだも健康長寿～  
帖佐悦男  
ロコモ予防市民公開講座, 2015, 7, 都城
- 92) リハビリテーションに必要なバイオメカニクス  
帖佐悦男  
第1回 Tokyo Conference for Neurorehabilitation and Neural Repair,  
2015, 7, 東京
- 93) 高齢者の大腿骨系頸部骨折に対する治療成績～術前X線側画像の重要性  
今里浩之, 森治樹, 梅崎哲矢  
第42回骨折治療学会, 2015, 7, 東京
- 94) 地域包括ケア病棟の自宅復帰に影響を与える因子についての検討  
圓福陽介, 渡辺一徹, 野海渉, 茂利久嗣, 植村郁, 蓑原勝哉, 前原孝政,  
砂川一馬, 満安隆之, 児玉香織, 太田尾祐史, 東友和, 迫田勇一郎,  
深野木快士, 小牧亘  
第28回日本臨床整形外科学会, 2015, 7, 山口

- 95) 通所リハビリテーション利用者における注意機能トレーニングの効果検証  
蓑原勝哉, 渡辺一徹, 野海渉, 茂利久嗣, 圓福陽介, 前原孝政, 砂川一馬,  
満安隆之, 太田尾祐史, 東友和, 迫田勇一郎, 小牧亘  
第28回日本臨床整形外科学会, 2015, 7, 山口
- 96) 電撃傷の治療経験  
川野啓介, 帖佐悦男, 池尻洋史, 中村嘉宏, 落合秀信, 天野正宏, 持田耕介,  
堀川永子, 菅野みゆき  
第46回宮崎救急医学会, 2015, 8, 宮崎
- 97) 骨粗鬆症の治療戦略  
渡邊信二  
西諸骨粗鬆症勉強会, 2015, 8, 宮崎
- 98) 整形外科疾患における超音波検査の有用性について  
濱田浩朗  
第1回鹿児島運動器超音波研究会, 2015, 8, 鹿児島
- 99) TCZ の 2nd・3rd Bio 製剤としての有用性についての検討  
甲斐睦章  
第50回九州リウマチ学会, 2015, 9, 鹿児島
- 100) 関節超音波を用いた生物学的製剤の治療反応性の評価: 生物学的製剤のスウィッチングの観点から  
西野文子, 川尻真也, 川上純, 吉玉珠美, 榮樂信隆, 松岡直樹, 植木幸孝,  
岡田覚丈, 都留智巳, 日高利彦, 濱田浩朗, 藤川敬太, 永野修司,  
有信洋二郎, 田中良哉, 井田弘明, 福田孝昭, 金崎克也, 大坪秀雄,  
泉原智麿, 右田清志  
第50回九州リウマチ学会, 2015, 9, 鹿児島
- 101) 関節リウマチ患者の人工膝関節における静脈血栓塞栓症の発生頻度とリスク因子  
酒井達弥, 右田清志, 泉政寛, 熊谷謙治, 宮原寿明, 古市格, 税所幸一郎,  
本川哲  
第50回九州リウマチ学会, 2015, 9, 鹿児島
- 102) 当院にて人工膝関節全置換術(TKA)を施行された患者の術後在院日数に影響を与える因子の検討  
清水和彦, 吉川教恵, 税所幸一郎, 菅田耕, 佐倉志洋  
第50回九州リウマチ学会, 2015, 9, 鹿児島



- 103) 骨粗鬆症に対する薬剤選択法—骨吸収マーカーをターゲットとして—  
小牧亘, 深野木快士, 帖佐悦男  
第17回日本骨粗鬆症学会, 2015, 9, 広島
- 104) SURGICAL TREATMENT OF POSTERIOR WALL FRACTURE COMBINED WITH FEMORAL HEAD FRACTURE—  
EFFECTIVENESS OF SURGICAL DISLOCATION FOR FEMORAL HEAD FRACTURE  
Yoshihiro NAKAMURA, Etsuo CHOSA, Takero SAKAMOTO, Shinji WATANABE,  
Hiroshi IKEJIRI, Taro FUNAMOTO, Masaru HIYOSHI, Keisuke KAWANO.  
36th SICOT Orthopaedic World Congress, 2015, 9, China
- 105) 可変型遺伝子トラップ法を用いた骨軟骨に異常をきたす新規遺伝子群の探索および機能解析  
船元太郎, 関本朝久, 黒木修司, 大田智美, 中村志保子, 永井琢哉,  
帖佐悦男, 吉信公美子, 荒木正健, 中原舞, 荒木喜美  
第22回技術・研究発表交流会, 2015, 9, 宮崎
- 106) 学童期運動器検診の実施にあたって—現状と課題—  
帖佐悦男  
第124回宮城県スポーツ医学懇話会, 2015, 9, 宮城
- 107) 内科医に知ってもらいたい見逃すと困る運動器疾患  
帖佐悦男  
第12回 Current Opinion Forum, 2015, 9, 北海道
- 108) スポーツ整形外科における画像診断のポイント  
帖佐悦男  
第41回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2015, 9, 京都
- 109) BTBと薄筋腱を併用した2重束ACL再建術の臨床成績と画像評価  
田島卓也, 山口奈美, 石田康行, 谷口昇, 帖佐悦男  
第3回九州千葉スポーツフォーラム, 2015, 9, 宮崎
- 110) 当科における上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の治療戦略  
石田康行  
第3回九州千葉スポーツフォーラム, 2015, 9, 宮崎

- 111) ドーピング防止研修  
鳥取部光司  
第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」に参加する宮崎県選手団へのドーピング防止研修会, 2015, 9, 宮崎
- 112) 宮崎県における高校ラグビー年間を通じての公式戦外傷調査～グラウンドレベルでの治療～  
今里浩之, 田島卓也, 吉川大輔  
日本整形外科スポーツ医学会, 2015, 9, 北海道
- 113) 短時間通所利用希望者受け入れのための業務効率化の取り組み  
松山孝志, 小牧亘  
第57回全日本病院学会, 2015, 9, 北海道
- 114) 高度肥満と膝関節靭帯複合損傷の症例  
—減量と組織損傷に着目して—  
砂川一馬, 小牧亘  
第57回全日本病院学会, 2015, 9, 北海道
- 115) 歩行可能な90歳以上の生活環境  
満安隆之, 小牧亘  
第57回全日本病院学会, 2015, 9, 北海道
- 116) 脊椎圧迫骨折入院患者における骨密度とその影響  
前原孝政, 小牧亘  
第57回全日本病院学会, 2015, 9, 北海道
- 117) 骨粗鬆症に対する本院の院内連携の取り組み  
東友和, 小牧亘  
第57回全日本病院学会, 2015, 9, 北海道
- 118) 本院の世代交代の取り組み  
小牧亘, 深野木快士  
第57回全日本病院学会, 2015, 9, 北海道
- 119) プレバガリン投与による疼痛コントロールの評価  
上山慶佑  
第57回全日本病院学会, 2015, 9, 北海道

- 120) 当院VACにおける経験  
加藤広晃  
第57回全日本病院学会, 2015, 9, 北海道
- 121) タクロリムスの23価肺炎球菌 ワクチン ( PPSV23 ) の免疫原性に対する影響  
右田清志, 和泉泰衛, 岩永 希, 辻 良香, 宮村和也, 末松栄一, 吉津 滋,  
末広康夫, 河部庸次郎, 森俊輔, 税所幸一郎, 明田幸宏, 大石和徳  
第50回九州リウマチ学会, 2015, 9, 鹿児島
- 122) 小児の運動器疾患と学童期検診ーロコモ対策を含めてー  
帖佐悦男  
第18回新潟リハビリテーション研究会, 2015, 10, 新潟
- 123) 肩腱板脂肪変性とクロマチン蛋白HMGB2の新しい役割  
谷口昇, 矢野浩明, 石田康行, 末永直樹, 帖佐悦男  
第42回日本肩関節学会, 2015, 10, 宮城
- 124) 反復性肩関節前方脱臼に対する鏡視下バンカート修復術の成績  
石田康行, 矢野浩明, 谷口昇, 大田智美, 中村志保子, 帖佐悦男  
第42回日本肩関節学会, 2015, 10, 宮城
- 125) 関節リウマチのCTAに対する小径骨頭による人工骨頭置換術の経験  
谷口昇, 矢野浩明, 石田康行, 末永直樹, 帖佐悦男  
第42回日本肩関節学会, 2015, 10, 宮城
- 126) フォースプレートを利用したロコモティブシンドローム評価システムの開発  
山子剛, 帖佐悦男, 鳥取部光司, 鄧鋼, 大塚裕貴  
第30回日本整形外科学会基礎学術集会, 2015, 10, 富山
- 127) 脂肪細胞分化に関わる新規クロマチン蛋白HMGB2の役割  
李徳哲, 谷口昇, 森永秀孝, 石田康行, 濱中秀昭, 末永直樹, 帖佐悦男  
第30回日本整形外科学会基礎学術集会, 2015, 10, 富山
- 128) 可変型遺伝子トラップ法で作製したLima1/EPLIN欠損マウスは骨量減少を呈する  
中村志保子, 関本朝久, 船元太郎, 黒木修司, 大田智美, 永井琢哉, 中原舞,  
吉信公美子, 荒木喜美, 荒木正健, 帖佐悦男  
第30回日本整形外科学会基礎学術集会, 2015, 10, 富山

- 129) 臼蓋巨大骨欠損に対する治療戦略  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 池尻洋史, 船元太郎, 日吉優,  
川野啓介  
第42回日本股関節学会学術集会, 2015, 10, 大阪
- 130) Periacetabular osteotomyの長期(術後平均15年)成績—寛骨臼巨大骨嚢胞の影響について—  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 池尻洋史  
第42回日本股関節学会学術集会, 2015, 10, 大阪
- 131) 大腿骨近位部骨折に大腿骨遠位横止めステム(MX-2000)を用いた治療経験  
齊藤由希子, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 池尻洋史, 船元太郎, 日吉優,  
川野啓介  
第42回日本股関節学会学術集会, 2015, 10, 大阪
- 132) 診断に難渋した大腿骨頸部脆弱性骨折の2例～アデホビルに伴うFanconi症候群に対する治療戦略  
川野啓介, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 濱田浩朗, 関本朝久, 池尻洋史,  
中村嘉宏, 船元太郎, 日吉優  
第42回日本股関節学会学術集会, 2015, 10, 大阪
- 133) 小児の運動器疾患と学童期検診—ロコモ対策を含めて—  
帖佐悦男  
Bone Masters Course IV(-Trauma/Joint-仙台), 2015, 10, 宮城
- 134) 寛骨臼骨折に対するアプローチ—適応と整復—  
帖佐悦男  
第42回日本股関節学会学術集会, 2015, 10, 大阪
- 135) 病棟回診における医師事務作業補助者の介入の効果と今後の課題  
横山香奈, 北川幸代, 丸山こずえ, 後藤文朗, 税所幸一郎  
第69回国立病院総合医学会, 2015, 10, 愛知
- 136) NinJa(iR-netによる関節リウマチデータベース)を利用した6施設での関節リウマチ関連骨関節  
腱手術と薬物療法  
税所幸一郎, 嘗問重人, 菅田耕, 吉川教恵  
第69回国立病院総合医学会, 2015, 10, 愛知

- 137) 当センターにおける高度麻痺性股関節脱臼に対する外科的治療選択  
川野彰裕, 柳園賜一郎, 門内一郎  
第32回日本脳性麻痺の外科研究会, 2015, 10, 大阪
- 138) 当院における動物咬創—特に犬・猫での治療経験—  
麻生邦一, 内田和宏, 岡崎啓治  
第27回延岡医学会総会, 2015, 10, 宮崎
- 139) 平成26年度少年野球(軟式・硬式)実態調査より見えてきたこと  
高岸憲二, 別府諸兄, 帖佐悦男, 正富隆, 松浦哲也, 加藤公, 渡邊幹彦,  
岩間徹, 田鹿毅  
第26回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2015, 11, 兵庫
- 140) ジュニア女性短距離選手に生じた陳旧性坐骨裂離骨折の治療経験  
—手術適応、後療法に着目して—  
今里浩之, 田島卓也, 山口奈美, 石田康行, 三股奈津子, 帖佐悦男  
第26回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2015, 11, 兵庫
- 141) 青島太平洋マラソン大会における宮大健康スポーツナースの救護活動の実際  
笠裕一郎, 藤浦まなみ, 帖佐悦男  
第26回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2015, 11, 兵庫
- 142) 宮崎県における春季キャンプに対するメディカルサポート報告—キャンプ地の総合的メディカルサポート体制の構築にむけて—第2報 2014~2015年のまとめ  
小島岳史, 田島卓也, 帖佐悦男, 石田康行, 河原勝博, 田島直也, 山口奈美,  
樋口潤一, 山本恵太郎, 園田典生  
第26回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2015, 11, 兵庫
- 143) 有痛性分裂膝蓋骨に対する当院での治療方針  
吉川大輔, 園田典生, 帖佐悦男  
第26回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2015, 11, 兵庫
- 144) 宮崎県下ラグビー競技におけるデリバリードクター活動報告—競技サポートシステムとしてのテレメディシン診療の可能性に関して—  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 田島卓也, 吉川大輔, 比嘉聖, 今里浩之  
第26回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2015, 11, 兵庫

- 145) 寛骨臼骨切り術後の関節症進行に対する治療戦略～骨切り術から人工関節に至るまでの治療の軌跡～  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 池尻洋史, 船元太郎, 日吉優,  
川野啓介  
第130回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 11, 宮崎
- 146) びまん性脊椎骨増殖症を伴う胸腰椎骨折に対して経皮的椎弓根スクリューを使用した後方固定手術の検討  
猪俣尚規  
第130回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 11, 宮崎
- 147) 宮崎県少年野球検診 ～検診の質の向上を目指して～  
長澤誠, 石田康行, 帖佐悦男  
第130回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 11, 宮崎
- 148) 膝外側円板状半月：形態および断裂形態と術式の関連性、年代別発症機転の特徴  
山口奈美, 谷口昇, 石田康行, 田島卓也, 大田智美, 中村志保子, 今里浩之,  
三股奈津子, 帖佐悦男  
第130回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 11, 宮崎
- 149) 人工肩関節置換術時に鎖骨下動脈閉塞を合併した一例  
福田一, 松岡知己, 大倉俊之, 杉本哲朗  
第130回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 11, 宮崎
- 150) 大腿骨頸部骨折に対するツインフックシステムでの治療経験  
小牧亘, 深野木快士, 濱田浩朗, 帖佐悦男  
第130回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 11, 宮崎
- 151) 80歳以上の大腿骨近位部骨折に対する循環器疾患の周術期リスクについての調査  
梅崎哲矢, 森治樹, 三橋龍馬, 山口洋一郎  
第130回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 11, 宮崎
- 152) リアルタイムMEPモニタリング下に、腸腰筋に浸潤した後腹膜腫瘍を摘出した一例  
平川雄介, 濱中秀昭, 猪俣尚規, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 李徳哲,  
横江琢示, 帖佐悦男  
第130回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 11, 宮崎

- 153) 電撃傷3例の治療経験  
日吉優, 帖佐悦男, 中村嘉宏, 池尻洋史, 川野啓介, 持田耕介, 堀川永子,  
菅野みゆき, 天野正宏, 落合秀信  
第130回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 11, 宮崎
- 154) 体軸性脊椎関節炎の早期診断における問題点の検討  
首藤敏秀, 小菌敬洋, 鈴木周一, 和氣聡  
第130回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 11, 宮崎
- 155) 脛骨に発生したサルモネラ骨髄炎の一例  
齋藤由紀子, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗,  
池尻洋史, 船元太郎, 中村嘉宏, 日吉優, 川野啓介, 戸田雅  
第130回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 11, 宮崎
- 156) 骨巨細胞腫2例に対するdenosumabを用いた治療経験  
戸田雅, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗, 池尻洋史,  
中村嘉宏, 船元太郎, 日吉優, 川野啓介, 齋藤由紀子  
第130回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 11, 宮崎
- 157) 鎖骨両端骨折にLCP クラビクルプレートラテラルエクステンションを使用した1例  
森治樹, 三橋龍馬, 梅崎哲矢, 山口洋一朗  
第130回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 11, 宮崎
- 158) 肩鎖関節脱臼に対する新しい手術デバイス“Zip Tight”の使用経験  
—術後1年経過例をふまえて—  
小島岳史, 久保紳一郎, 野崎正太郎, 河野勇泰喜, 田島直也, 岡村龍,  
松岡篤, 黒田宏, 帖佐悦男  
第130回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2015, 11, 宮崎
- 159) 宮崎県における側弯症専門外来の診療状況とその変遷  
黒木浩史, 猪俣尚規, 永井琢哉, 帖佐悦男, 田島直也  
第49回日本側弯症学会学術集会, 2015, 11, 新潟
- 160) 跛行による股関節接触状況の変化と臼蓋形成不全への影響  
大内宏輝, Gang Deng, 山子剛, 鳥取部光司, 帖佐悦男  
第42回日本臨床バイオメカニクス学会, 2015, 11, 東京

- 161) サポートリングを用いた人工股関節置換術の有限要素解析  
鳥取部光司, 帖佐悦男, 山子剛, Xin Zhao, 渡邊信二, 深尾悠, Gang Deng,  
大内宏輝  
第42回日本臨床バイオメカニクス学会, 2015, 11, 東京
- 162) フォースプレートを用いた立ち上がり動作解析によるロコモティブシンドローム評価法  
山子剛, 帖佐悦男, 鳥取部光司, Gang Deng, 大塚裕貴  
第42回日本臨床バイオメカニクス学会, 2015, 11, 東京
- 163) びまん性特発性骨増殖症 (diff use idiopathic skeletal hyperostosis : DISH) を合併した  
圧迫骨折後偽関節に対して経皮的椎弓根スクリューにて治療した症例の術後成績  
濱中秀昭, 猪俣尚規, 比嘉聖, 永井琢哉, 李徳哲, 今里浩之, 帖佐悦男  
第84回西日本脊椎研究会, 2015, 11, 福岡
- 164) 成長期の運動器検診: 予防・早期発見の重要性 —学童期運動器検診の開始を受けて—  
帖佐悦男  
第26回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2015, 11, 兵庫
- 165) 学童期運動検診の開始を受けて—ロコモ対策を含めて—  
帖佐悦男  
モーラステープ20mg発売20周年モーラスパップ60mg発売10周年記念講演会,  
2015, 11, 沖縄
- 166) 骨盤・股関節・大腿部のスポーツ外傷・障害—画像診断のコツと落とし穴—  
帖佐悦男  
第24回兵庫県整形外科スポーツ医学教育研修会, 2015, 11, 兵庫
- 167) 健康寿命延伸を目指して—私たちのロコモ対策—  
帖佐悦男  
平成27年度日本医師会生涯教育講座 (西部会場), 2015, 11, 島根
- 168) ロコモティブシンドローム—病態解明への挑戦—  
関本朝久  
都城地区整形外科医会学術講演会, 2015, 11, 宮崎
- 169) スポーツ診断—画像診断のコツと落とし穴—  
帖佐悦男  
第480回岩手整形災害外科懇談会, 2015, 11, 岩手



- 170) 高校男子サッカー選手に対するFunctionalMovement Screeningによる評価と傷害発生の関連性について  
田島直也, 菅原康史  
第26回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2015, 11, 兵庫
- 171) スポーツ活動者の反復性肩関節脱臼に対する鏡視下手術の成績  
横江琢示, 石田康行, 矢野浩明, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 帖佐悦男  
第28回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2015, 12, 福岡
- 172) プロサーファーのMRIによる腰椎椎間板変性の検討  
小島岳史, 久保紳一郎, 野崎正太郎, 田島直也, 原田昭彦, 落合錠, 横田薫, 尾崎勝博, 帖佐悦男  
第28回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2015, 12, 福岡
- 173) ジュニア女性短距離選手に生じた陳旧性坐骨裂離骨折の治療経験  
—手術適応、後療法に着目して—  
今里浩之, 田島卓也, 石田康行, 谷口昇, 山口奈美, 大田智美, 三股奈津子, 帖佐悦男  
第28回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2015, 12, 福岡
- 174) 膝関節外側滑膜ヒダ障害による弾発膝を来した1例  
三股奈津子, 石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 帖佐悦男  
第28回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2015, 12, 福岡
- 175) 宮崎大学医学部附属病院における「宮大健康スポーツナース」の活動～霧島・えびの高原エクストリームトレイル大会での救護活動を振り返って～  
福崎崇宏, 木下俊太, 笠裕一郎, 藤浦まなみ, 水永豊子, 日高真美子, 横江琢示, 帖佐悦男  
第28回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2015, 12, 福岡
- 176) 宮崎シーガイアトライアスロン大会での救護活動報告(第2報)～「宮大健康スポーツナース」の活動の有用性～  
木下俊太, 岩田知美, 水野有美, 藤浦まなみ, 水永豊子, 日高真美子, 船元太郎, 落合秀信, 帖佐悦男  
第28回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2015, 12, 福岡

- 177) FIFA U-17 Women's World Cup Costa Rica 2014の帯同経験  
山口奈美, 三股奈津子, 今里浩之, 中村志保子, 大田智美, 田島卓也,  
石田康行, 谷口昇, 帖佐悦男  
第28回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2015, 12, 福岡
- 178) 足関節外側靭帯陳旧性裂離骨折に対する骨片摘出・靭帯前進縫着法の経験  
田島卓也, 山口奈美, 石田康行, 谷口昇, 大田智美, 帖佐悦男  
第28回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2015, 12, 福岡
- 179) 当院における距骨骨折の治療経験  
大塚記史, 浪平辰州, 横江琢示  
第71回宮崎整形外科懇話会, 2015, 12, 宮崎
- 180) 両側橈骨遠位端骨折後に遅発性両側長母指伸筋腱断裂を生じた1例  
甲斐糸乃, 吉川大輔, 坂田勝美, 益山松三  
第71回宮崎整形外科懇話会, 2015, 12, 宮崎
- 181) 当院における掌側ロッキングプレート (ACU-LOC2) を用いた橈骨遠位端骨折に対する治療成績  
山口洋一朗, 森治樹, 梅崎哲矢, 今里浩之  
第71回宮崎整形外科懇話会, 2015, 12, 宮崎
- 182) 脛骨骨切り後に施行したTKA  
柏木輝行, 矢野良英, 花堂祥治, 福島克彦  
第71回宮崎整形外科懇話会, 2015, 12, 宮崎
- 183) 大腿骨転子部骨折術後に巨大血腫を併発し骨溶解した1例  
小牧亘, 深野木快士, 濱田浩朗, 帖佐悦男  
第71回宮崎整形外科懇話会, 2015, 12, 宮崎
- 184) 変形性肩関節症に対する人工骨頭置換術と全人工肩関節置換術の治療経験  
谷口昇, 石田康行, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 帖佐悦男, 末永直樹  
第71回宮崎整形外科懇話会, 2015, 12, 宮崎
- 185) アキレス腱縫合術後に再断裂と創部感染を起こし治療に難渋した1例  
梅崎哲矢, 森治樹, 山口洋一朗, 今里浩之  
第71回宮崎整形外科懇話会, 2015, 12, 宮崎

- 186) 当科での人工膝関節置換術後感染に対するインプラント温存治療の経験（化膿性膝関節炎による関節破壊と診断せずTKA施行した症例）  
公文崇詞，栗原典近，岡村龍，森田雄大  
第71回宮崎整形外科懇話会，2015，12，宮崎
- 187) ピオクタニン溶液を使用した感染治療  
福田一，松岡知己，斎藤由希子  
第71回宮崎整形外科懇話会，2015，12，宮崎
- 188) 手指非結核性抗酸菌症の治療経験  
森治樹，梅崎哲矢，山口洋一郎，今里浩之，吉富健  
第71回宮崎整形外科懇話会，2015，12，宮崎
- 189) 大腿骨骨幹部開放骨折後MRSA感染し治療に難渋した1例  
樋口誠二，安藤徹  
第71回宮崎整形外科懇話会，2015，12，宮崎
- 190) 運動器疾患（ロコモ）を取り囲む新たな概念～疼痛管理も含めて～  
帖佐悦男  
第391回横浜市立大学整形外科同門会談話会～横浜運動器未来創生セミナー～，  
2015，12，神奈川
- 191) 成長期のスポーツ外傷・障害  
帖佐悦男  
平成27年度JCOA有床診療所部会全体会議，2015，12，東京
- 192) 大腿骨転子部骨折術後に巨大血腫を併発し骨溶解した1例  
小牧亘，深野木快士，濱田浩朗，帖佐悦男  
第22回宮崎県理学療法士県学会，2015，12，宮崎

## ◆ポスター

1) Hip and Knee Arthroplasty -Finite Element Analysis

Koji Totoribe, Etsuo Chosa, Go Yamako, Xin Zhao.  
Orthopaedic Research Society 2015 Annual Meeting, 2015, 3, USA

2) 診断に苦慮した小指伸展障害の1例

矢野浩明, 甲斐糸乃, 大田智美, 中村志保子, 帖佐悦男  
第58回日本手外科学会学術集会, 2015, 4, 東京

3) MTX不使用の理由別患者profileの差異の検討

津野宏隆, 松井利浩, 金子敦史, 税所幸一郎, 梶山浩, 三村俊英, 西野仁樹,  
當間重人  
第59回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2015, 4, 愛知

4) HLAと関節リウマチに伴う気道病変の関連

岡笑美, 古川宏, 島田浩太, 杉井章二, 橋本篤, 小宮明子, 須田昭子,  
角田慎一郎, 伊藤聡, 中村正, 税所幸一郎, 佐野統, 右田清志, 長岡章平,  
土屋尚之, 當間重人  
第59回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2015, 4, 愛知

5) 腎機能と関節リウマチ活動性との関連

梶山浩, 井熊大輔, 津野宏隆, 松井利浩, 金子敦史, 角田慎一郎,  
税所幸一郎, 佐藤浩二郎, 秋山雄次, 當間重人, 三村俊英  
第59回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2015, 4, 愛知

6) 結晶誘発性関節炎におけるエコー所見と関節鏡所見との対比

濱田浩朗, 帖佐悦男, 税所幸一郎, 関本朝久  
第59回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2015, 4, 愛知

7) フルスレッドアンカーを用いたスーチャーブリッジ法後の上腕骨大結節骨形態の検討

石田康行, 矢野浩明, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 甲斐糸乃, 帖佐悦男  
第88回日本整形外科学会学術集会, 2015, 5, 兵庫

8) 宮崎県における運動器検診の実情と課題について

河原勝博, 帖佐悦男, 山本恵太郎, 山口奈美, 黒木修司, 船元太郎, 小牧ゆか  
第88回日本整形外科学会学術集会, 2015, 5, 兵庫

- 9) 寛骨臼後壁骨折に骨頭骨折を合併した症例に対する治療戦略—Surgical dislocationの有用性—  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 濱田浩朗, 渡邊信二, 池尻洋史, 船元太郎  
第88回日本整形外科学会学術集会, 2015, 5, 兵庫
- 10) 脊柱矢状面アライメントは特発性側弯症に対する装具療法の予後予測因子になりうるか  
黒木浩史, 猪俣尚規, 濱中秀昭, 比嘉聖, 永井琢哉, 帖佐悦男, 田島直也  
第88回日本整形外科学会学術集会, 2015, 5, 兵庫
- 11) 可変型遺伝子トラップ法で作製したTmem161a欠損マウスは明らかな骨量増加を呈する  
黒木修司, 関本朝久, 船元太郎, 大田智美, 中村志保子, 中原舞,  
吉信公美子, 荒木喜美, 荒木正健, 帖佐悦男  
第88回日本整形外科学会学術集会, 2015, 5, 兵庫
- 12) 80歳以上の高齢者に対する術前心エコー検査についての検討  
梅崎哲矢, 森治樹, 三橋龍馬, 山口洋一朗, 李徳哲  
第88回日本整形外科学会学術集会, 2015, 5, 兵庫
- 13) 人工股関節置換術後の筋力・歩行・階段昇降能力の検討  
鳥取部光司, 帖佐悦男, 濱田浩朗, 小牧ゆか, 深尾悠, 坂本武郎,  
柳園賜一郎, 川野彰裕  
第52回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2015, 5, 新潟
- 14) 色素性絨毛結節性滑膜炎が疑われたCuff Tear Arthropathyの一例  
谷口昇, 矢野浩明, 石田康行, 田島卓也, 帖佐悦男  
第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2015, 6, 北海道
- 15) 橈骨遠位端骨折受傷後の大腿骨近位部骨折が起こる背景  
太田尾祐史, 渡辺一徹, 野海渉, 茂利久嗣, 圓福陽介, 蓑原勝哉, 前原孝政,  
砂川一馬, 満安隆之, 迫田勇一郎, 小牧亘  
第49回日本作業療法学会, 2015, 6, 兵庫
- 16) 指節骨斜骨折に対する我々の MISF 法  
牧信哉, 本荘憲昭, 樋口誠二  
第41回日本骨折治療学会, 2015, 6, 奈良
- 17) 可変型遺伝子トラップ法を用いたlamin B receptorの骨代謝における機能解析  
船元太郎, 関本朝久, 黒木修司, 中村志保子, 大田智美, 帖佐悦男  
第33回日本骨代謝学会学術集会, 2015, 7, 東京

- 18) 可変型遺伝子トラップ法で作製したTmem161a欠損マウスは明らかな骨量増加を呈する  
黒木修司, 関本朝久, 船元太郎, 大田智美, 中村志保子, 永井琢哉, 帖佐悦男  
第33回日本骨代謝学会学術集会, 2015, 7, 東京
- 19) 診断に難渋した薬剤性Fanconi症候群の一例  
渡邊信二, 帖佐悦男  
第17回日本骨粗鬆症学会, 2015, 9, 広島
- 20) Rotator cuff regeneration upon arthroscopic surface-holding procedure with bone marrow stimulation technique  
Noboru Taniguchi, Naoki Suenaga, Etsuo Chosa.  
26th Congress of the European Society for Shoulder and Elbow Surgery,  
2015, 9, Italia
- 21) THE STRATEGY UNDER THE COMBINED MODALITY THERAPY WITH ENDOVASCULAR TREATMENT TO SALVAGE THE CRITICAL LIMB ISCHEMIA  
Deokcheol Lee, Ryuma Mitsuhashi, Tetsuya Umezaki, Haruki Mori,  
Etsuo Chosa.  
36th SICOT Orthopaedic World Congress, 2015, 9, China
- 22) 整復を重視したスーチャーブリッジ法による鏡視下腱板修復術の成績  
三股奈津子, 石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 今里浩之,  
帖佐悦男  
第3回九州千葉スポーツフォーラム, 2015, 9, 宮崎
- 23) Relevance of Anterior Knee Pain and Weight-Bearing Axial Radiographic View After Total Knee Arthroplasty  
小島岳史, 帖佐悦男  
36th SICOT Orthopaedic World Congress, 2015, 9, 中国
- 24) 可変型遺伝子トラップ法を用いた骨軟骨異常を来す新規遺伝子群のライブラリー構築  
永井琢哉, 関本朝久, 船元太郎, 黒木修司, 大田智美, 中村志保子, 中原舞,  
吉信公美子, 荒木喜美, 荒木正健, 帖佐悦男  
第30回日本整形外科学会基礎学術集会, 2015, 10, 富山

- 25) 可変型遺伝子トラップ法で作製したTmem161a欠損マウスは明らかな骨量増加を呈する  
黒木修司, 関本朝久, 船元太郎, 大田智美, 中村志保子, 永井琢哉, 中原舞,  
吉信公美子, 荒木喜美, 荒木正健, 帖佐悦男  
第30回日本整形外科学会基礎学術集会, 2015, 10, 富山
- 26) 可変型遺伝子トラップ法を用いたlamin B receptorの骨代謝における機能解析  
船元太郎, 関本朝久, 黒木修司, 大田智美, 中村志保子, 永井琢哉, 中原舞,  
吉信公美子, 荒木喜美, 荒木正健, 帖佐悦男  
第30回日本整形外科学会基礎学術集会, 2015, 10, 富山
- 27) 寛骨臼形成におけるSNP解析  
関本朝久, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 池尻洋史, 中村嘉宏, 船元太郎,  
日吉優, 川野啓介  
第42回日本股関節学会学術集会, 2015, 10, 大阪
- 28) DPC制度からみたクリニカルパスの整備について  
丸山こずえ, 北野喜恵, 税所幸一郎  
第69回国立病院総合医学会, 2015, 10, 愛知
- 29) 人工関節置換術後に肝梗塞を生じた血液透析患者の2例  
吉川教恵, 税所幸一郎, 菅田耕, 帖佐悦男, 濱田浩朗  
第43回日本関節病学会, 2015, 11, 北海道
- 30) CONSTRUCTION OF A NOVEL GENE LIBRARY RELATED TO OSTEOGENIC DISORDER USING EXCHANGEABLE  
GENE TRAP MUTAGENESIS  
Nakamura S, Sekimoto T, Kurogi S, Funamoto T, Ota T, Chosa E, Nakahara M,  
Yoshinobu K, Araki K.  
Australian New Zealand Bone & Mineral Society Annual Scientific Meeting  
2015, 2015, 11, Australia

## ◆シンポジウム

- 1) 関節超音波を用いた分子標的治療薬の治療反応性の評価：九州地区多施設共同RA超音波前方視的  
コホート研究  
西野文子，川尻真也，川上純，吉玉珠美，榮樂信隆，松岡直樹，岡田覚丈，  
濱田浩朗，日高利彦，藤川敬太，都留智巳，永野修司，植木幸孝，  
有信洋二郎，田中良哉，井田弘明，福田孝昭，金崎克也，大坪秀雄，  
泉原智麿，右田清志  
第59回日本リウマチ学会総会・学術集会，2015，4，愛知
- 2) Ninjaによる関節リウマチ患者の四肢骨折手術の解析－2013年度－  
吉川教恵，税所幸一郎，當間重人，菅田耕，帖佐悦男，濱田浩朗，西野仁樹  
第59回日本リウマチ学会総会・学術集会，2015，4，愛知
- 3) 地域におけるロコモ認知度向上と前向き介入研究  
帖佐悦男  
第88回日本整形外科学会学術集会，2015，5，兵庫
- 4) 学童期運動器検診：宮崎県の取り組み  
山口奈美，帖佐悦男  
第27回日本運動器科学会，2015，7，宮崎
- 5) 「ラグビー」日本代表カテゴリー帯同ドクターの役割－現状と課題－  
田島卓也  
第41回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2015，9，京都
- 6) JOSSM-USAトラベリングフェロー報告  
田島卓也  
第41回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2015，9，京都



## ◆ 講 演

- 1) スポーツドクターの役割と実際ースポーツ外傷のスクリーニングと治療ー  
田島卓也  
篠山地域連携勉強会, 2015, 1, 兵庫
  
- 2) スポーツ指導医に必要な医学的知識 I  
黒木修司  
第2回スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会, 2015,  
1, 宮崎
  
- 3) ロコモってなあ-に?~いつまでも自分の足で歩くために~  
税所幸一郎  
第71回市民のための健康講座, 2015, 3, 宮崎
  
- 4) プレガバリン投与による疼痛コントロールの評価-しびれの有無での比較検討-  
小牧亘  
都城地区整形外科医会学術講演会, 2015, 6, 宮崎
  
- 5) 不慮の事故や外傷、病気などからの復職  
柏木輝行  
第4回(株)岩切建設安全大会, 2015, 6, 宮崎
  
- 6) 骨粗鬆症に対する薬剤選択法ー骨吸収マーカーをターゲットにしてー  
小牧亘  
都城地区整形外科医会学術講演会, 2015, 7, 宮崎

## 編 集 後 記

今回はテーマを設けずに編集させていただきました。国際学会に参加される先生も増えてきて、寄稿していただきました。若手の先生には刺激をうけ、各分野で頑張っていたいただきたいと思います。

新入会員紹介として賛助会員、増田好成先生、門内一郎先生、獅子目亨先生、正会員、黒木智文先生、北堀貴史先生、藤田貢司先生に御入会いただき自己紹介を御寄稿していただきました。また、留学生のNiroshan Punchihewa先生、王玉柱先生の自己紹介を御寄稿していただきました。

その他、学会賞、同門会、医局行事等があります。皆様には隔々まで目を通していただけると幸いです。

最後に何かと忙しい中、本誌に御寄稿いただいた諸先生方に深謝いたします。

平成29年8月吉日

渡邊 信二  
石田 康行 (文責)  
中島 美菜

宮崎大学医学部整形外科

## 同 門 会 誌

発 行 日 平成29年8月

発 行 者 宮崎大学医学部整形外科学教室同門会

編集責任者 石 田 康 行

印 刷 所 宮崎県児湯郡新富町大字上富田4726-1  
障害者支援施設 あゆみの里